

II 学校教育

1. 市立学校の概要

1 - 1 市立小中学校一覧

	学 校 名	所 在 地	電 話	校 長	通常の学級		特別支援学級		教員 数
					学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	
小 学 校	第一小学校	吉祥寺本町4-17-16	22-1421	新井 保志	16	506			23
	第二小学校	境4-2-15	51-4478	松原 修	13	441			19
	第三小学校	吉祥寺南町2-35-9	43-2322	伊野 啓子	14	463	2	13	24
	第四小学校	吉祥寺北町2-4-5	22-1423	榛原 紀子	12	365			26
	第五小学校	関前3-2-20	51-2196	鈴木 恒雄	16	505			24
	大野田小学校	吉祥寺北町4-11-37	51-0511	藤橋 義之	24	799	5	29	40
	境南小学校	境南町2-27-27	32-3401	宮崎倉太郎	19	575	4	20	33
	本宿小学校	吉祥寺東町4-1-9	22-4723	安部 忍	13	396			23
	千川小学校	八幡町3-5-25	51-3695	河村 祐好	11	301			24
	井之頭小学校	吉祥寺本町3-27-19	51-7188	赤羽 幸子	18	571			34
	関前南小学校	関前3-37-26	53-7655	鈴木健太郎	13	358			21
	桜野小学校	桜堤1-8-19	53-5125	金子 圭子	28	954	4	通級	54
小 計					197	6,234	15	62	345
中 学 校	第一中学校	中町3-9-5	51-8041	中嶋建一郎	9	340	1	通級	24
	第二中学校	桜堤1-7-31	52-2148	菅野由紀子	12	412			28
	第三中学校	吉祥寺東町1-23-8	22-1426	河合 雅彦	9	315			19
	第四中学校	吉祥寺北町5-11-41	51-7675	竹山 正弘	12	459	5	27	32
	第五中学校	関前2-10-20	52-0421	刀根 武史	6	193			15
	第六中学校	境3-20-10	53-6311	若槻 善隆	7	226	1	0	19
小 計					55	1,945	7	27	137
合 計					252	8,179	22	89	482

※数値は学校基本調査（令和3年5月1日現在）による。

※通級の児童・生徒数については、通常の学級の児童・生徒数に含む。

1 - 2 児童・生徒数、学級数

① 児童・生徒数

各年度5月1日現在 (単位:人)

学校名 \ 年度		29	30	元	2	3
小 学 校	第一小学校	413	421	439	489	506
	第二小学校	395	407	423	412	441
	第三小学校	432(8)	440(10)	422(11)	431(10)	463(13)
	第四小学校	353	373	400	359	365
	第五小学校	426	432	457	476	505
	大野田小学校	750(30)	757(34)	745(27)	774(27)	799(29)
	境南小学校	525(19)	516(17)	536(22)	546(21)	575(20)
	本宿小学校	350	375	378	395	396
	千川小学校	306	307	282	291	301
	井之頭小学校	451	495	504	555	571
	関前南小学校	263	291	329	337	358
	桜野小学校	909	924	941	967	954
	小 計		5,573(57)	5,738(61)	5,856(60)	6,032(58)
中 学 校	第一中学校	294	272	284	313	340
	第二中学校	368	395	411	423	412
	第三中学校	329	301	298	303	315
	第四中学校	404(19)	407(19)	415(25)	446(29)	459(27)
	第五中学校	244	237	201	182	193
	第六中学校	202(0)	207(0)	207(1)	222(0)	226(0)
小 計		1,841(19)	1,819(19)	1,816(26)	1,899(29)	1,945(27)
合 計		7,414(76)	7,557(80)	7,672(86)	7,921(87)	8,179(89)

- ・ ()内の数は特別支援学級の児童・生徒数で外数
- ・ 平成29年度に第三小学校に知的障害特別支援学級 (ひまわり学級) を開設
- ・ 平成29年度より第四小学校、井之頭小学校、桜野小学校の情緒障害等通級指導学級は特別支援教室に移行

②学級数

各年度5月1日現在

学校名 \ 年度		29	30	元	2	3	
小 学 校	第一小学校	13	14	14	14	16	
	第二小学校	13	13	14	13	13	
	第三小学校	13(1)	14(2)	13(2)	13(2)	14(2)	
	第四小学校	12	13	15	12	12	
	第五小学校	14	13	14	15	16	
	大野田小学校	22(4)	23(5)	24(5)	24(5)	24(5)	
	境南小学校	17(4)	17(4)	18(4)	18(4)	19(4)	
	本宿小学校	12	12	13	13	13	
	千川小学校	12	12	12	11	11	
	井之頭小学校	15	15	16	18	18	
	関前南小学校	11	11	12	12	13	
	桜野小学校	26(3)	27(4)	27(4)	27(4)	28(4)	
	小 計		180(12)	184(15)	192(15)	190(15)	197(15)
	中 学 校	第一中学校	9(1)	9(1)	9(1)	9(1)	9(1)
第二中学校		11(2)	11(2)	12(3)	12	12	
第三中学校		9	9	9	9	9	
第四中学校		12(4)	12(4)	12(4)	12(5)	12(5)	
第五中学校		7	7	7	6	6	
第六中学校		6(1)	6(1)	6(1)	7(1)	7(1)	
小 計		54(8)	54(8)	55(9)	55(7)	55(7)	
合 計		234(20)	238(23)	247(24)	245(22)	252(22)	

・（ ）内の数は特別支援学級の学級数で外数

③ 令和3年度 児童・生徒数及び学級数

【通常の学級・特別支援学級（固定学級）】

令和3年5月1日現在

学年 学校名	1			2			3			4			5			6			小計			特別支援学級 (固定学級)			合計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
第一小学校	52	41	93	54	50	104	49	35	84	53	30	83	38	38	76	32	34	66	278	228	506				278	228	506
学級数	3			3			3			3			2			2			16						16		
第二小学校	35	47	82	30	36	66	40	40	80	42	37	79	26	28	54	45	35	80	218	223	441				218	223	441
学級数	3			2			2			2			2			2			13						13		
第三小学校	47	47	94	43	32	75	33	37	70	44	31	75	42	29	71	47	31	78	256	207	463	8	5	13	264	212	476
学級数	3			3			2			2			2			2			14			2			16		
第四小学校	32	30	62	23	33	56	45	22	67	36	34	70	30	29	59	24	27	51	190	175	365				190	175	365
学級数	2			2			2			2			2			2			12						12		
第五小学校	47	58	105	45	36	81	45	38	83	30	39	69	46	40	86	40	41	81	253	252	505				253	252	505
学級数	3			3			3			2			3			2			16						16		
大野田小学校	73	61	134	86	57	143	62	52	114	63	69	132	64	61	125	80	71	151	428	371	799	21	8	29	449	379	828
学級数	4			5			3			4			4			4			24			5			29		
境南小学校	60	48	108	38	59	97	58	51	109	44	41	85	46	41	87	39	50	89	285	290	575	13	7	20	298	297	595
学級数	4			3			3			3			3			3			19			4			23		
本宿小学校	29	35	64	40	39	79	30	25	55	34	38	72	31	32	63	24	39	63	188	208	396				188	208	396
学級数	2			3			2			2			2			2			13						13		
千川小学校	35	26	61	27	28	55	28	23	51	15	25	40	27	18	45	28	21	49	160	141	301				160	141	301
学級数	2			2			2			1			2			2			11						11		
井之頭小学校	47	55	102	59	62	121	42	43	85	47	53	100	42	48	90	38	35	73	275	296	571				275	296	571
学級数	3			4			3			3			3			2			18						18		
関前南小学校	48	26	74	24	32	56	40	28	68	36	32	68	32	18	50	24	18	42	204	154	358				204	154	358
学級数	3			2			2			2			2			2			13						13		
桜野小学校	84	69	153	81	76	157	84	80	164	82	71	153	94	80	174	74	79	153	499	455	954				499	455	954
学級数	5			5			5			4			5			4			28						28		
小学校計	589	543	1132	550	540	1090	556	474	1030	526	500	1026	518	462	980	495	481	976	3234	3000	6234	42	20	62	3276	3020	6296
学級数	37			37			32			30			32			29			197			11			208		
第一中学校	72	46	118	62	54	116	53	53	106										187	153	340				187	153	340
学級数	3			3			3												9						9		
第二中学校	70	64	134	71	67	138	72	68	140										213	199	412				213	199	412
学級数	4			4			4												12						12		
第三中学校	51	49	100	51	56	107	61	47	108										163	152	315				163	152	315
学級数	3			3			3												9						9		
第四中学校	82	64	146	81	79	160	88	65	153										251	208	459	21	6	27	272	214	486
学級数	4			4			4												12			5			17		
第五中学校	38	32	70	48	29	77	19	27	46										105	88	193				105	88	193
学級数	2			2			2												6						6		
第六中学校	42	28	70	40	46	86	42	28	70										124	102	226	0	0	0	124	102	226
学級数	2			3			2												7			1			8		
中学校計	355	283	638	353	331	684	335	288	623										1043	902	1945	21	6	27	1064	908	1972
学級数	18			19			18												55			6			61		
総計																			4277	3902	8179	63	26	89	4340	3928	8268
学級数																			252			17			269		

【特別支援学級（通級指導学級）・特別支援教室】

種別	難聴 通級指導学級			言語障害 通級指導学級			特別支援教室			難聴 通級指導学級			特別支援教室		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
設置校	桜野小学校			桜野小学校			全小学校			第一中学校			全中学校		
児童・生徒数	5	2	7	37	20	57	218	57	275	8	6	14	35	10	45
学級数	1			3						1					

*通級指導学級・特別支援教室の児童・生徒は、通常の学級に学籍がある。

1 - 3 教員配置定数の推移

各年度5月1日現在 (単位:人)

学 校 名		年 度									
		24	25	26	27	28	29	30	元	2	3
小 学 校	第一小学校	18	18	18	18	18	19	20	20	20	22
	第二小学校	20	20	20	19	20	19	19	20	19	19
	第三小学校	22	21	20	19	19	21	23	22	22	23
	第四小学校	23	24	24	25	24	24	28	30	24	25
	第五小学校	20	19	20	20	19	20	19	20	21	24
	大野田小学校	33	32	34	33	35	36	38	39	39	40
	境南小学校	26	27	30	29	29	29	30	30	30	31
	本宿小学校	15	16	16	18	18	18	19	19	19	19
	千川小学校	18	18	18	18	18	18	18	18	23	24
	井之頭小学校	18	18	19	19	23	25	26	29	31	31
	関前南小学校	16	16	16	17	17	17	17	18	18	19
	桜野小学校	34	39	40	41	44	43	49	49	48	50
小 計		263	268	275	276	284	289	306	314	314	327
中 学 校	第一中学校	22	22	21	22	20	20	20	21	22	21
	第二中学校	22	24	24	24	24	25	25	26	27	28
	第三中学校	22	22	21	21	21	19	19	19	19	19
	第四中学校	28	26	26	25	25	28	28	29	31	30
	第五中学校	19	16	18	19	19	17	17	17	16	15
	第六中学校	20	20	20	17	18	17	16	16	18	18
小 計		133	130	130	128	127	126	125	128	133	131
合 計		396	398	405	404	411	415	431	442	447	458

- ・産休・育休代替教員、充て指導主事、休職者、教員研究生、日本人学校派遣教員、非常勤教員等は除く。
- ・指導方法の工夫改善に伴う加配措置を含む。
- ・この他「学習指導講師（市講師）」の数は以下のとおり。

令和3年5月1日現在 (単位:人)

第一小	第二小	第三小	第四小	第五小	大野田小	境南小	本宿小	千川小
2	4	3	3	4	3	2	3	3
井之頭小	関前南小	桜野小	第一中	第二中	第三中	第四中	第五中	第六中
3	5	7	3	0	0	1	1	0

1 - 4 学区域

昭和22年11月の市制施行時における公立小中学校の数は、小学校が5校、中学校は1校であったがその後の学齢人口の増加に伴う学校新設ごとに学区域の調整を行い、平成8年4月に学校の新設としては最後である桜野小学校の開校による学区域変更を行いました。その後、大野田小地域及び桜野小地域の学齢人口が増加したことに伴い、令和2年4月に区域間の調整による学区域の変更を行い、現在の学区域に至ります。

なお、学区域の指定は、学校教育法施行令第5条第2項の規定に基づき、武蔵野市立学校学区に関する規則を制定して行っています。

武蔵野市立学校学区域表

令和2年4月1日から適用

学校名	町名・丁目	番・(号)	
第一小学校	吉祥寺本町	1 1～11	
		2 1～20 24～34	
		4 全域	
	中町	3 全域	
第二小学校	関前	5 全域	
	境	1 全域	
		2 1～22	
		3 全域	
	4 16を除く全域		
第三小学校	吉祥寺南町	1～5 全域	
第四小学校	吉祥寺東町	1 1～6	
		2 1～21	
	吉祥寺北町	1 全域	
		2 全域	
		3	1～4
			10 (1～12・47～79) 11～14 15 (1～3・20～34)
第五小学校	西久保	1～3 全域	
	関前	3 2～5	
大野田小学校	吉祥寺北町	3 5～9	
		10 (13～46)	
		15 (4～19) 16・17	
		4 全域	
	緑町	5 全域	
		1 1～3	
		2 1～3	
	3 全域		
境南小学校	境南町	1～5 全域	
本宿小学校	吉祥寺東町	1 7～25	
		2 22～45	
		3 全域	
		4 全域	
	吉祥寺本町	1 12～38	
千川小学校	緑町	1 4～8	
		2 4～6	
	八幡町	1～4 全域	
井之頭小学校	御殿山	1～2 全域	
	吉祥寺本町	2 21～23 35	
		3 全域	
中町	1～2 全域		
関前南小学校	関前	1 全域	
		2 全域	
		3 1 6～41	
		4 全域	
桜野小学校	境	2 23～27	
		4 16	
		5 全域	
	桜堤	1～3 全域	

学校名	町名・丁目	番・(号)
第一中学校	御殿山	1～2 全域
	吉祥寺本町	1 1～11
		2 全域
		3 全域
		4 全域
中町	1～3 全域	
第二中学校	境	2 23～27
		4 16
		5 全域
	境南町	3～5 全域
桜堤	1～3 全域	
	吉祥寺東町	1～4 全域
吉祥寺南町	1～5 全域	
	吉祥寺本町	1 12～38
		吉祥寺北町
	2 1～6	
第四中学校	吉祥寺北町	1 15～31
		2 7～21
		3 全域
		4 全域
		5 全域
	緑町	1～3 全域
八幡町	1～4 全域	
	第五中学校	西久保
関前	1～4 全域	
第六中学校	関前	5 全域
	境	1 全域
		2 1～22
		3 全域
	4 16を除く全域	
境南町	1～2 全域	

1 - 5 学校施設概要一覧

令和3年6月1日現在

学校名	敷地面積 (㎡)	校 舎		体 育 館		プ ー ル		備 考
		建築年月	保有面積 (㎡)	建築年月	保有面積 (㎡)	築造年度	規模 (m)	
第一小学校	10,591.04	昭和44. 3	4,506	昭和44.10	702	昭和35	25×10	
第二小学校	9,854.59	昭和43. 3	5,032	昭和43. 3	732	昭和43	25×10	
第三小学校	12,227.69 <small>体育館棟敷地含む</small>	昭和45. 3 昭和49. 2	4,972	昭和43. 3 昭和62. 7	1,503	昭和62	25×10	体育館2棟有り
第四小学校	13,045.00	昭和47. 5 昭和53.11	6,202	昭和44. 3	741	昭和36	25×10	
第五小学校	9,901.93	昭和36. 3 昭和48. 3	5,959	昭和47. 5	869	昭和37	25×10	
大野田小学校	15,051.77	平成17. 3 平成30. 2	11,273	昭和55. 3	1,261	平成17	25×11	
境南小学校	14,305.49	昭和47. 3 昭和51. 3	8,110	昭和51. 7	677	昭和51	25×10	借地分 56㎡
本宿小学校	11,518.23	昭和53. 9	6,796	昭和54. 3	795	昭和53	25×10	
千川小学校	8,852.52	平成 7. 3	8,061	平成8. 10	1,525	平成 7	25×10	自然体験園 観察小屋含む
井之頭小学校	9,998.00	昭和49.11	6,303	昭和62. 2	2,087	昭和61	25×11	
関前南小学校	14,778.44	昭和46. 5	3,699	昭和46. 5	771	昭和46	25×10	
桜野小学校	12,820.91	昭和52. 4 平成14. 3 平成22. 8 平成27. 3	9,652	平成14. 3	1,399	昭和42	25×10	
小学校計	142,945.61	—	80,565	—	13,062	—	—	
第一中学校	15,519.80	昭和38. 9 昭和59. 3 昭和63.10	7,749	昭和57.11	2,111	昭和57	25×11	借地分 15,520㎡
第二中学校	15,098.07	昭和43. 2	6,026	昭和59.11	2,829	昭和33	25×13	
第三中学校	14,586.68	昭和47. 3 昭和58. 3	6,864	昭和58. 3	2,216	昭和57	25×11	
第四中学校	19,996.22	昭和51. 8 平成 3. 6	12,074	平成 4. 6	3,322	平成 4	25×11	借地分 5,225㎡
第五中学校	19,548.77	昭和36. 3 昭和49. 7	5,400	昭和39. 3	1,298	昭和59	25×11	
第六中学校	12,697.02	昭和46. 3 昭和56. 3	6,132	昭和47. 2	1,100	昭和55	25×10	借地分 56㎡
中学校計	97,446.56	—	44,245	—	12,876	—	—	
合 計	240,392.17	—	124,810	—	25,938	—	—	

第一小学校



校長 新井 保志 副校長 藤間 研吾

所在地 吉祥寺本町4-17-16
 TEL 0422(22)1421
 FAX 0422(23)0394
 H P <http://dail-e.musashino-city.ed.jp/>

《主な沿革》

- 明治 6 年 研礎学舎と称し、安養寺に創設
 8 年 吉祥寺小学校と改称
 26 年 武蔵野村吉祥寺尋常小学校に改称
 44 年 現在地へ校舎新築、移転。武蔵野村第一尋常小学校と改称し、開校記念日とする。
 昭和 10 年 校歌制定（野口雨情作詞、藤井清水作曲）
 16 年 武蔵野第一国民学校と改称
 22 年 市制施行により武蔵野市立武蔵野第一小学校と改称
 三石館（旧体育館）落成、現在の校章が決まる。
 30 年 特殊学級（むらさき学級）開設（昭和 47 年第四小学校に移設）
 35 年 開校 50 周年記念式典を挙、国旗掲揚塔、石炭置場新設
 36 年 武蔵野市立第一小学校と校名変更、プール完成
 44 年 鉄筋コンクリート四階建現校舎落成、体育館落成
 60 周年及び校舎落成記念式典を挙
 49 年 訪問学級開設（昭和 60 年 3 月閉級）
 54 年 文部省より保健体育優良校として表彰
 55 年 70 周年（開校 107 周年）記念式典を挙、校庭遊具 6 基新設
 58 年 開校 110 周年記念式典を挙
 63 年 学校施設開放運営委員会発足遊び場開放実施
 平成 5 年 開校 120 周年記念式典を挙
 15 年 東京都人権尊重教育推進校・武蔵野市教育研究校として発表会開催
 開校 130 周年記念式典挙
 16 年 ビオトープ完成
 20 年 武蔵野市教育研究校として発表会開催、校庭一部芝生化
 21 年 校舎棟耐震補強工事
 25 年 武蔵野市教育課題研究開発校（環境教育）として発表会開催
 開校 140 周年記念式典挙
 26 年 「のびのびルーム」新設工事
 27 年 プール漕等塗装工事 放送機器改修
 28 年 特別支援教室「かわせみ教室」新設工事、第 10 回むさしの教育フォーラム
 ～セカンドスクール 20 年を迎えて～「小・中学校合同セカンドスクール報告会」
 29 年 第 2 子どもクラブ教室新設工事
 平成 28・29 年武蔵野市教育研究奨励校発表（算数）
 30 年 平成 30・31 年武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）
 校舎棟屋上防水改修工事、汚水枡改修工事
 31 年 平成 30・31 年武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）2 年次
 体育館空調設置工事、保健室シャワー設置工事、4 階ミシン室普通教室化工事
 令和元年 吹奏楽団日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞・審査員特別賞、全日本小学生バンド
 フェスティバル全国大会金賞、TBS こども音楽コンクール東日本優秀演奏大会最優秀賞及
 び文部科学大臣賞選考会第 3 位、東京都小学校アンサンブルコンテスト金賞代表
 平成 30・31 年武蔵野市教育課題研究開発校（外国語活動・外国語）研究発表
 3 年 一子どもクラブ増設及び一小あそべえ移転

《教育目標》

(1) 学校の教育目標

- 自分も人も大切にする子 ◎自ら学ぶ子〈重点目標〉 ○健康な子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「自分も人も大切にする子」を育成するために

- ① 全教育活動を通して人権教育を推進し、児童一人一人の高い自己肯定感と互に尊重し合う態度、更に多様な他者と共に生きる力を育む。
- ② 特別の教科道徳や総合的な学習の時間を中心として、生命を大切にすることを育て、人と社会のつながりを大切にすることで、地域社会の一員としてよりよい地域づくりに積極的に参画する資質や態度を育成する。

イ 「自ら学ぶ子」を育成するために

- ① 児童との確かな信頼関係を築くと共に、各教科の指導・生活指導の取り組みを通して望ましい学習規律・規範意識を定着させ、主体的に学習に取り組む態度を育成する。
- ② たゆまぬ授業改善を通して児童に質の高い教育を提供するとともに、個に合わせたきめ細かい指導により学習習慣の確立を促し、基礎基本の確実な習得を図る。また、身についた知識・技能を活用した、思考力・判断力・表現力を高める教育活動を推進し、問題解決能力を高めると共に将来に渡り学ぶ意欲の向上を図る。

ウ 「健康な子」を育成するために

- ① 意図的・計画的に体育の授業や体力向上の取り組みを推進し、基礎的な体力・運動能力の向上と心身の健康づくりに向けて運動量の十分な確保に取り組むとともに、生涯を通じて健康で活力ある生活を送るための資質・能力を育てる。
- ② 体験的な活動や異学年集団における協働により、望ましい人間関係を大切にしながら、協力し合う心やねばり強く取り組む心を育むとともに、自分や周囲の健康で安全な生活を意識し、主体的に課題解決を図る力を育む。

《特色ある教育活動》

ア 「自分も人も大切にする子」を達成するため、特別の教科道徳、総合的な学習の時間等を中心に全教育活動を通して人権教育を推進する。発達段階に合わせて、人権教育プログラムの指導事例などを活用した授業を行う他、児童一人一人の個性や能力が発揮できる場を設定し、自己肯定感を育み、児童同士がよさを認め合い、自他を尊重する心を高める。

イ 日々の音楽授業や音楽集会・小さな音楽会に加え3年に1回の音楽会の取り組みを通し、表現する楽しさや鑑賞する喜びを味わわせながら豊かな情操を育てる。また吹奏楽団の活動を継続する中で、自他の立場を尊重し仲間と関わる意識、地道な努力を継続する姿勢を育み、音楽のみならず全人的な成長を促すとともに、対外的な演奏の機会を通して本校の音楽活動を発信し、地域や他校との交流の懸け橋となる。

ウ 日々の体育授業、体育朝会と併せて実施する大縄跳び・短縄跳び・持久走旬間、休み時間の外遊びにより、努めて児童の活動量を確保し運動能力の向上を図る。また毎週火曜日の「姿勢すっきりタイム」の取り組みにより、よい姿勢で体幹を保つ意識と習慣を育む。

エ オリンピック・パラリンピック教育に関する全体計画及び各学年の年間指導計画に基づき、「スポーツ志向」「ボランティアマインド」「障害者理解」「豊かな国際感覚」の育成を促進する。オリンピック・パラリンピックの催しを通し、児童に世界が平和でよりよい社会を築こうとする意識を醸成する。

オ 安全指導年間計画に防災教育を位置付け、災害時の対応や日常的な備え、実践的な応急救護の実技について学ぶ。また第5学年総合的な学習の時間に防災の単元を位置付け、保護者や地域との合同防災訓練の活動を通して、自助・公助の意識や技能の向上を図る。

カ 地域コーディネーターと連携し、地域を愛する心情や国際理解・伝統文化に関する理解を深めるとともに、「自立」「協働」「社会参画」の3つの視点から地域社会と積極的に関わり貢献しようとする市民性を高める教育を推進する。

キ 1年生の小学校生活をスムーズにスタートさせるため、入学前の幼稚園・保育園との情報共有を綿密に行い、児童理解を深めるとともに、入学直後の適応指導に9時間計上し「武蔵野スタートカリキュラム」を活用した小1プロブレムの早期対応と解決を図る。また中学校とは「小・中学校合同研修会」でテーマごとに共通理解を深めるとともに、小中学生の交流の場を計画的に設定することで、小中の接続をスムーズにし、見通しと期待をもって進路を考える能力を育む。

ク 新型コロナウイルス感染症の影響を受け、ストレスや不安を抱えている状況を踏まえ、感染予防を始めとする健康教育を充実させるとともに、改めて一人一人を大切にすることを学校づくりにむけた人権教育の取り組みを一層充実・深化させていく。

第二小学校



校長 松原 修

副校長 浅見 優子

所在地 境4-2-15

TEL 0422 (51) 4478

FAX 0422 (55) 5027

H P <https://dai2-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 明治 6年 本校の前身「栄境学舎」を曹洞宗観音院の一室に開設
8年 杵築大社の境内に移転、「境学校」と改名
18年 「隆明小学校」と改名
44年 東京府武蔵野村立武蔵野第二尋常小学校と改名（3学級） 4月15日を開校記念日と定める
- 昭和 36年 東京都武蔵野市立第二小学校と改名
43年 新校舎竣工、旧校舎より移転（現在地に移る）
- 平成 5年 開校120周年記念式典挙行（「栄境学舎」開校以来）
7年 文部省道徳教育推進校・市教育研究校研究発表
10年 武蔵野市教育研究校研究発表（算数）
14年 武蔵野市教育研究校研究発表「よりよく生きる児童の育成～心と体の健康づくりを軸として～」
15年 開校130周年記念式典・祝賀会挙行（「栄境学舎」開校以来）
18年 武蔵野市教育委員会教育研究校発表 研究主題「よりよく生きる子どもを育てる」
20年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校研究発表（理科・生活科）
校舎耐震補強工事
22年 太陽光パネル設置工事 体育館屋根改修工事 校庭遊具「うんてい」「丸太ステップ」設置
25年 開校140周年記念式典・祝賀会挙行（「栄境学舎」開校以来）
26年 武蔵野市教育研究奨励校発表「健康について関心をもち、自ら考え行動する子供の育成～体育・食育を通して～」
27年 校庭雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事、体育館南側複合遊具撤去工事
28年 平成28年度武蔵野市教育委員会教育研究奨励校 研究主題「相手を思いやり、自ら進んで実践する子供の育成～道徳教育を通して～」
29年 東京都道徳教育推進拠点校及び武蔵野市教育研究奨励校研究発表 研究主題「相手を思いやり、自ら進んで実践する子供の育成～道徳教育を通して～」
30年 開校145周年記念集会挙行

教育目標

自他の人権を尊重し、自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる児童を育てる。

○やさしく ◎かしこく ○たくましく

特色ある教育活動

- ① 地域コーディネーターとの連携を図り、二小地域の人材や教育資源、企業などの文化的環境等を積極的に活用した教科等横断的な学習を武蔵野市民科として高学年に位置付ける。そして学校・地域・保護者が一体となった教育活動を推進し、「自立」「協働」「社会参画」に関する資質・能力を育てる。
- ② 中休みと昼休みを 25 分間とし、運動に親しむ習慣を身に付け、体力向上に努める。
- ③ 学校図書館担当教員等を中心に学校図書館サポーターと連携して市立図書館等を活用し、読書環境の一層の充実を図る。また毎週火曜日・金曜日の「朝読書」、読書旬間の実施など、読書活動を一層推進し、読書週間の定着・向上を図る。
- ④ 郷土の伝統芸能「むさしの二小ばやし」や「箏」に取り組み、日本の伝統・文化を大切にする心情や武蔵野の郷土を愛する心情を育てる。また、課外の吹奏楽クラブの活動を通して、音楽的な情操を高めるとともに生涯にわたって音楽に親しむ基礎を培う。
- ⑤ 高齢者や地域関係機関、幼稚園・保育園などとの交流活動を通して、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力の育成を図り、地域社会の一員としての自覚を促す。
- ⑥ 体力調査の結果から強化すべき運動を選択し、その対策として「二小オリンピック」を設定し体力の向上を図る。
- ⑦ 校内委員会を中核とし、特別支援教育コーディネーター、特別支援教育専門員、スクールカウンセラー、派遣相談員や専門家スタッフの連携を密に特別支援教育の充実を図る。また、学校生活支援シート(個別の教育支援計画)や個別指導計画に基づき特別支援教室と密に連携を図りながら、共通理解して指導や支援を行う。また、個別支援教室での指導を通して、学ぶことの楽しさや成就感を体得し、進んで学習する意欲を育てる。
- ⑧ 縦割りの「なかよしグループ」による集会活動や班遊びなどの活動を充実し、異年齢児童相互の交流を深め、思いやりの心やリーダー性を育てる。
- ⑨ 地域の環境(商店街、公共施設、武蔵野ふるさと歴史館、しろがね公園、独歩の森、玉川上水など)を生活科・社会科・理科・総合的な学習の時間などを中心とした教育活動に積極的に活用する。
- ⑩ セカンドスクールやプレセカンドスクールでは、そのねらいを十分踏まえ、教育課程の全体のバランスを考慮したプログラムを作成し、体験活動の一層の充実を図る。体験活動を通して視野を広げるとともに、人への思いやりや感謝の気持ち、自然に対する畏敬の念を育む。



第三小学校

校長 伊野 啓子 副校長 小泉 裕樹

所在地 吉祥寺南町 2 - 3 5 - 9

TEL 0 4 2 2 (4 3) 2 3 2 2

FAX 0 4 2 2 (4 3) 9 4 8 1

H P <http://dai3-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 5 年 武蔵野町立第三尋常小学校として開校
22年 武蔵野市立第三小学校と校名変更
45年 鉄筋校舎落成・創立40周年記念式典
- 平成 2 年 文部省教育課程研究指定校・市教育研究校として発表
5 年 文部省調査研究協力校・市教育研究校として発表
14年 東京都教育委員会職員表彰学校賞受賞、東日本学校吹奏楽大会（仙台）大賞受賞
16年 文部科学省・東京都教育委員会指定学力向上フロンティアスクール
国立教育政策研究所教育課程研究指定校、市教育委員会特別教育研究校として研究発表
18年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表、東京都教育委員会児童生徒表彰受賞
20年 武蔵野市教育委員会研究奨励校として研究発表
21年 校舎耐震補強工事、日本管楽合奏コンテスト全国大会最優秀賞受賞
22年 創立80周年記念式典、東京都確かな学力向上実践研究推進校研究協議会実施
23年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校
24年 東京都教育委員会習熟度別少人数指導実践研究推進校研究協議会実施
25年 武蔵野市教育委員会教育奨励校として研究発表
26年 第29回事務通信社「教育奨励賞」努力賞受賞
27年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、東京都教育委員会理数フロンティア校
28年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
29年 特別支援学級ひまわり学級開設 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
30年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育研究奨励校として発表
- 令和元年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校
東日本学校吹奏楽大会（金沢）銀賞受賞
2 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校 日本管楽合奏コンテスト全国大会小学校部門 最優秀賞受賞
TBS こども音楽コンクール小学校管楽合奏部門 優秀賞受賞
開校 9 0 周年記念式典
3 年 国立教育政策研究所学習指導実践研究協力校、武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として発表

教育目標

本校の開校以来の校訓「松のようにたくましく、桜のようにうつくしく、こぶしのように清らかに」を踏まえて、本校の教育目標を設定する。人間尊重の精神に基づき、心豊かな知性と感性、道徳心や体力を育み、時代の変化に主体的に対応できる個性・能力を伸ばす教育を推進する。そのために、次のような目指す子ども像を掲げる。

◎思いやりのある子ども（重点目標）

○よく学び考える子ども

○明るく元気な子ども

○進んではたらく子ども

特色ある教育活動

- ① 「人権標語」「人権メッセージ」「なかよしの木」の取組等を通して、人権教育の推進を図り、一人一人の人権意識を高める。
- ② すべての教職員が人権感覚を磨くとともに、学校生活全体における言語環境を十分に整え、教職員と児童との確かな信頼関係を確立する。
- ③ 校内研究（理科、国語科、算数科）では、教科の特質に応じた主体的、対話的で深い学びを実現するため、問題解決学習を全校で行う。児童が自ら課題をもち考え、学び合っ
て解決を図り、学んだ事を生活に生かそうとする資質・能力を育成する。
- ④ 学習者用コンピュータを授業場面で効果的に活用し、他者と協働して自己の考えを発信したり、互いの考えを比較し検討し考えを深めたりする学習活動を展開する。
- ⑤ ひまわり学級児童や副籍児童との交流を行事や授業、遊びを通して行い、特性を理解し、違いを認め合い、思いやりをもって接することができるようにする。
- ⑥ 音楽の授業を通して、音楽活動への意欲を高め、音楽を愛好する心情を育てるとともに、豊かな人間関係を目指す。
- ⑦ ICT機器を活用した授業を推進し、情報化社会で適正な活動を行うための基となる考え方と態度を育み、系統的な情報モラル教育を展開する。
- ⑧ 市民性を高める教育を推進するために、地域の人材や「武蔵野市のいま・むかし」などを活用し、歴史・文化等、地域から学ぶ機会を充実させる。各教科において横断的に、「自立」「協働」「社会参画」をキーワードとした市民性を高める教育を推進する。
- ⑨ 「吹奏楽団」の活動を生かして音楽的情操の向上を図り、地域との交流の架け橋とする。
- ⑩ 給食についての栄養士や調理員からの栄養指導により食事への関心を高め、感謝の気持ちをもたせる。また、生活科、理科、社会科、家庭科の学習を通して、食事の重要性や食文化と食物の大切さを理解し、食物生産にかかわる人々への感謝の心を育む。
- ⑪ 低学年で年間5時間の国際理解教育を計画し、外国語指導助手（ALT）とコミュニケーションを図ることにより、外国の文化に親しむ態度の素地を養う。
- ⑫ 災害時に自ら適切な対応がとれるよう、現実に応じた避難訓練、不審者対応訓練を行い、防災・防犯意識を高める指導をする。
- ⑬ 安全指導、セーフティ教室、地域安全マップづくり等の活動を通し、危険回避能力を身に付けさせるとともに家庭・地域との連携を図り、安全を確保する。
- ⑭ ビオランドを活用した自然観察活動、プレセカンドスクール、セカンドスクール、日光移動教室などにおける自然体験、理科や生活科での学習を通して、環境や自然と人間とのかかわりについて理解を深めるとともに、環境保全に向けて児童が主体的に行動する態度を育む。
- ⑮ オリンピアン・パラリンピアンとの交流を通してパラスポーツや様々な運動を体験し、スポーツへの理解を深めるなど、オリンピック・パラリンピック教育を推進する。

第四小学校



校長 榛原 紀子 副校長 山口 武志

所在地 吉祥寺北町 2-4-5
TEL 0422 (22) 1423
0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
FAX 0422 (22) 7022
0422 (22) 1443 (はなみずき教室)
HP <https://dai4-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 16 年 東京府北多摩郡武蔵野町第四国民学校として開校
22 年 東京都武蔵野市立武蔵野第四小学校と校名の変更
30 年 北校舎 6 教室落成 二部授業解消
36 年 プール完成
44 年 体育館落成
47 年 新校舎完成 (鉄筋 4 階、一部地下)
50 年 武蔵野市立第四小学校と校名変更
53 年 校舎増築完成 (鉄筋 2 階)
- 平成 3 年 開校 50 周年記念式典
10 年 市教育研究校として発表 (国語)
12 年 北校舎改修完了 コンピュータルーム設置
13 年 開校 60 周年記念式典
14 年 市教育研究校として発表 (総合的な学習の時間・生活科) ビオトープ完成
16 年 太陽光発電装置設置 市教育研究校として発表 (算数)
18 年 校庭雨水貯留槽設置 体育館床改修工事 南校舎外壁塗装
アスベスト除去工事実施
19 年 通級指導学級「はなみずき学級」開級
校庭整備工事終了 市教育研究校として発表 (国語)
21 年 北校舎棟 (東棟・西棟) 耐震補強工事
23 年 開校 70 周年記念式典 市教育課題研究開発校として発表 (ICT 活用)
25 年 体育館天井改修及び照明更新工事
26~27 年 東京都教育委員会言語能力向上拠点校 市教育委員会教育課題研究開発校
28 年 東京都教職員表彰 (読書活動の推進等)
29~30 年 市教育委員会小中連携教育研究協力校
30 年 「くすのき」教室開設 文部科学大臣教職員表彰
- 令和 元年 北校舎外壁改修工事完了 体育館用冷暖房機設置工事完了
第 1 回 芸術祭
2 年 武蔵野市運動能力向上モデル校 南校舎トイレ改修工事完了
東京都教職員表彰 (子供の体力向上)

教育目標

本校の象徴であるヒマラヤスギのように大地に根を張り、絶えず向上しようとする意志と
真理を追究する精神を兼ね備えた人間性豊かな児童を育成する。

○たくましい子 ○よく考える子 ◎思いやりがある子 ○進んで働く子

特色ある教育活動

- ◎「あいさつは 心をこめて 自分から 目を見て えがおで 元気よく」をモットーに気持ちよい挨拶ができるようにし、言葉遣いを意識するように指導して、望ましい人間関係の育成を図る。
- ◎さまざまな教科、場面でのタブレット型パソコンの有効な活用についての研究を推進し、年間指導計画の作成と計画に基づいた実施とともに保護者・地域へ授業を公開する。
- ◎開校 80 周年を迎えるため、学校の歴史を振り返り地域の方と共に周年記念行事を実施する。
- ◎中学校へのスムーズな接続を目指すため、高学年において一部教科担任制を取り入れた授業を実施する。
- ◎30 分間の中休みに外遊びを推奨し遊びを通じた体力向上、コミュニケーション能力の向上をめざす。
- ◎体育科の研究を推進し、運動の楽しさと喜びを味わわせるとともに、児童一人一人にできた実感を十分に体感できる授業を行うことで、何事にも挑戦する児童の育成を図る。
- 保護者による読み聞かせや年 3 回の読書旬間、朝読書を通し、「四小おすすめの 100 冊」を推奨し、図書に慣れ親しみ主体的に読書活動を進められるようにする。
- 児童が自分の住む地域についてより理解を深めるために、地域コーディネーターの協力により、地域の商店や公共施設の見学や副読本の活用をする。
- 学年園を活用した植物の栽培活動を通して、生命の大切さに気付かせ生長の不思議や面白さ、収穫の喜び、継続して世話をしていく楽しさを経験させ、身近な自然を大切にすること心情を育てる。
- 茶道、和楽器の演奏、能など地域の人材を活用した伝統芸能に関わる授業を行うことで、我が国の歴史や伝統文化を理解し尊重する態度を育てる。
- 四小の森、ビオトープ、近隣の公園など身近な自然環境をフィールドとした学習を展開するとともにリサイクル等の環境保全のための教育を推進する。
- 吹奏楽団が児童や保護者、地域の人々に向けて演奏する機会を設け、音楽に親しむことを通して、豊かな情操を育む。
- オリンピック・パラリンピック教育では、5つの資質能力（ボランティアマインド、障害者理解、スポーツ志向、日本人としての自覚と誇り、豊かな国際感覚）の育成に向けた大会後も長く続く教育活動を実施する。
- 特別支援教室と連携し、ひらがなの読みの学習を計画的に実施し、特殊音節に焦点を当て文字や語句の正しい読み書きを指導する。また児童の特性に応じて、合理的な配慮を行う。
- 「開かれた学校づくり協議会」や地域の方々との連携を深め、学校支援コーディネーターや地域コーディネーターを活用し、地域を学び、武蔵野市を愛する児童を育てる。また、関係者評価を学校運営に生かす。

第五小学校



校長 鈴木 恒雄 副校長 越前 信

所在地 関前 3-2-20
TEL 0422 (51) 2196
FAX 0422 (55) 5036
HP <http://dai5-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 21年 武蔵野国民学校として発足
22年 市立武蔵野第五小学校と校名変更
35年 鉄筋校舎（北校舎）落成
36年 武蔵野市立第五小学校と校名変更
48年 鉄筋新校舎（西校舎）落成
57年 学校保健統計調査の文部大臣表彰
- 平成 元年 ランチルーム完成
7年 文部省むし歯予防推進指定校研究発表
8年 開校50周年記念式典挙行
10年 市教育研究校として研究発表
13年 ISO14001登録校となる ビオトープ工事完了 市教育研究校として研究発表
15年 体育館耐震工事完了 全国学校ビオトープ奨励賞受賞
18年 市教育課題研究開発校研究発表
19年 開校60周年記念式典挙行 市教育研究奨励校研究発表
20年 北校舎棟耐震補強工事
21年 西校舎棟耐震補強工事 市教育研究奨励校研究発表
22年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備完了 西校舎トイレ改修工事完了
23年 全普通教室空調設備設置工事完了
24年 校旗新調
25年 市教育研究奨励校として研究発表
27年 オリンピック・パラリンピック教育推進校
28年 開校70周年記念式典挙行
30年 市教育研究奨励校研究発表
31年 校内研究「コミュニケーション能力の育成」
- 令和 2年 市教育課題研究開発校（深い学びの実現）
『『深い学び』による資質・能力の向上をめざした授業の創造』
4年 市教育課題研究開発校 研究発表

教育目標

人間尊重の精神を基調とし 生涯学習の視点に立って 知性と感性に富み たくましく生きる人間性豊かな児童の育成を目指す

健康なくして 学びなし

元気 本気 根気

「気」のあふれる学校を目指す

特色ある教育活動

- ① 情報教育年間指導計画に基づき思考力・判断力・表現力等を伸ばすために、専門家や民間企業等と連携し ICT 機器の操作や活用能力を高める授業やプログラミング的思考を育てる授業を行う。
また、特別の教科 道徳の時間でもデジタル・シチズンシップを育成し、情報を適切に活用できるようにするとともに、思考を深めたり、発信したりする学習の場を意図的に設定する。
- ② 総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、体育及び体育的行事等を始めとする全教育活動を通して、オリンピック・パラリンピック教育との関連を図り、社会において児童自身が果たすべき役割を考えたり、自己の生き方を見つめ直したりする活動を通して、自己課題を見付け解決する力を育成する。
- ③ 体力調査を年2回実施し、1 回目の自己課題の解決に向けた種目別の目標を設定し、2 回目の調査に生かすことができるようにする。特に昨年度課題となっている投力や握力の向上を目指す。
- ④ 地域コーディネーターを窓口とした地域の教育力を教育活動に生かし、学校内や地域の様々な人との活動や市の様々な施設における体験学習を充実させ、「自立」「協働」「社会参画」の意識を高める。
- ⑤ 学校ビオトープや、飼育活動、自然と触れ合う場及び学びの場にふさわしい環境を充実させ、自然を慈しむ心を育てる。
- ⑥ 望ましい食生活を身に付けようとする態度を育成するために、食育リーダーを中心として食育の全体計画及び年間指導計画を改善する。自校給食の良さを生かし、市給食・食育振興財団の連携した取組を充実させる。国際理解教育を推進するために、毎月 1 回各国の代表的なメニューを献立に取り入れるなど、食育を通した異文化理解の土壌を育てる。
- ⑦ 社会において自立的に生きるための基礎を養うために、「五中体験」「五中見学」等を実施し、異校種の実態把握や学習指導や生活指導について教員相互の共通理解を図りながら、小・中学校間が連携した取組を充実させる。
- ⑧ 保護者による「五小ボランティア」を推進し保護者の協力を取り入れた教育活動を行うことで、保護者、地域に開かれた教育を実践する。

大野田小学校

校長 藤橋 義之 副校長 高丸 一哉 原田 久美



所在地 吉祥寺北町4-11-37
TEL 0422(51)0511
0422(51)0513 (むらさき・いぶき学級)
FAX 0422(53)8634
0422(51)0513 (むらさき・いぶき学級)
HP <https://oonoden-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26年 大野田小学校の認可を受ける
30年 むらさき学級開設
46年 開校 20 周年記念式典及び祝賀会を挙行
48年 校舎落成祝賀式挙行 (旧校舎)
56年 開校 30 周年記念式典及び祝賀会を挙行
平成 3年 いぶき学級、千川小学校より移管
創立 40 周年記念式典及び祝賀会を挙行
13年 開校 50 周年記念式典及び祝賀会を挙行
14年 仮設校舎での教育活動開始
15年 市教育研究奨励校・誌上発表 新校舎建設工事開始
17年 新校舎落成 パブリックアート除幕式 市教育研究奨励校・研究発表
18年 市教育研究推進校 文部科学省豊かな体験活動研究協力校
経済産業省資源エネルギー庁エネルギー教育推進校
公立学校優良施設表彰 奨励賞受賞
19年 武蔵野市教育研究校研究発表会開催
20年 東京都職員表彰受賞 (環境教育)
21年 武蔵野市教育研究推進校
22年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
23年 開校 60 周年記念式典及び祝賀会を挙行 武蔵野市教育研究推進校
24年 武蔵野市教育研究推進校研究発表
25年 武蔵野市教育委員会モデル校 (OJT推進)
27年 武蔵野市教育課題研究開発校指定
28年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表
29年 武蔵野市教育委員会モデル校 (タブレットPC活用)
令和 元年 武蔵野市教育課題研究開発校 (外国語教育) 研究発表
2年 武蔵野市運動能力向上モデル校指定
3年 開校 70 周年記念式典及び祝賀会を挙行

教育目標

人権尊重の精神を基調とし、豊かな心と生涯学び続ける態度を培い、確かな学力と正しい判断力、主体的な行動力と高い社会性を身に付け、地域社会や国際社会に貢献できる児童の育成を図る。

◎深く考える子 (重点目標) ・明るく思いやりのある子 ・強くたくましい子

特色ある教育活動

- ① 併設の特別支援学級児童の校内副籍を設け、各教科等での交流を含め日常的な交流を積極的に行うとともに、その他の障害のある方との交流を通して、障害理解を深め、共に生きる心を育む。小中連携研究協力校としての実践を生かし、小学校、中学校の特別支援教育の内容を相互理解し、キャリア教育に生かす。
- ② 学校いじめ防止基本方針、SNS家庭ルールを基に、いじめの未然防止のために学期に2回の児童アンケート、全員面談を実施し、発生の防止や早急・的確な対応に生かす。
- ③ 教育課題研究開発校としての実践を生かし、低学年では年間8時間の英語活動を通して、英語に慣れ親しみ、国際理解を深めることを、中学年では「聞くこと」「話すこと」を通してコミュニケーションを図る素地を、高学年では文字や単語などの認識、音声の違いやそれぞれの特徴、文構造への気付きなど「読むこと」「書くこと」を加えたコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を育成する。
- ④ 週3回、始業前に東京ベーシック・ドリル(算数)、言語活動、読書に取り組む時間を設定し、基礎学力の定着を図る。
- ⑤ 長縄跳びや短縄跳びなど、自己の記録に挑戦する「大野田ギネス」を1校1取組として行う。また、コーディネーショントレーニングやリズムダンス、投力や握力向上につながる環境作りなどに取り組み、楽しく体を動かす習慣や体力の向上に努める。
- ⑥ 第三期武蔵野市学校教育計画をもとに、社会の中で、自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく資質・能力を育て、自信と意欲を高める。特に、日々の教育活動をキャリア教育の視点で見直し、基礎的・汎用的能力(人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力)を伸ばす。また、特別活動を要とした学習の振り返りを行い、継続して自己の成長を認め、積み重ねていくようにする。(キャリアパスポートの活用)
- ⑦ デジタル教材、書画カメラ、タブレットPC等を日常的な教育活動に取り入れる。児童が主体的に学習を深めていくためのツールとしてICT機器を活用する。また、プログラミング教育を各学年5時間実施するように年間指導計画に位置付ける。
- ⑧ 吹奏楽クラブの活動では、演奏する喜びや鑑賞する楽しみを味わわせながら、互いのよさを認め、高め合う経験を通して、個性の伸長と感性を育む。
- ⑨ 開校70周年の記念行事業を通し、これまでの大野田小学校の歴史を振り返るとともに、地域コーディネーターや地域の諸機関と連携し、地域のよさを再発見する学習へとつなげる。新たな伝統を作り、発展させようとする態度を育てる。

境南小学校



校長 宮崎 倉太郎

副校長 小澤 香子

所在地 境南町2-27-27

TEL 0422 (32) 3401

0422 (34) 8371 (けやき学級)

0422 (32) 6140 (いとすぎ学級)

FAX 0422 (32) 1943

H P <http://kyounan-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26 年 武蔵野市立境南小学校設立
34 年 下校庭拡張工事完成
47 年 東校舎落成 開校 20 周年記念式典
48 年 いとすぎ学級 (病弱虚弱学級・武蔵野赤十字病院内) 開設
50 年 西校舎、給食棟、プール落成
55 年 けやき学級 (知的障害児学級) 開設
平成 元年 ランチルーム完成
13 年 世代間交流事業「ふれあいサロン」開講
「境南自然ガーデン (ビオトープ)」完成
15 年 読書活動優秀実践校として文部科学大臣賞表彰
17 年 校舎耐震補強工事完了
23 年 理科園移設 境南子どもクラブ落成 開校 60 周年記念式典
25 年 下校庭一部芝生化
26 年 いとすぎ学級 40 周年記念式典
27 年 平成 26・27 年度武蔵野市教育委員会研究奨励校 研究発表会
28 年 体力向上推進優秀校受賞 オリンピック・パラリンピック教育重点校指定
29 年 小中連携教育研究協力校「武蔵野市民科(仮称)」
30 年 武蔵野市食育モデル校
31 年 武蔵野市モデル校 (武蔵野市民科実践)
令和 2 年 武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 中間報告会
3 年 開校 70 周年記念運動会
武蔵野市教育課題研究開発校 (武蔵野市民科) 研究発表会
※第 15 回むさしの教育フォーラムと共催

教育目標

- ① よく考える子 〈重点目標 1〉
- ② 進んで取り組む子 〈重点目標 2〉
- ③ やさしい子
- ④ 元気な子

特色ある教育活動

- ①問い掛けから児童の思いを引き出す授業づくりや児童から出た疑問をもとにした単元構成を行い児童の主体性を育てる。
- ②自ら課題を設定する学習活動や家庭学習、自主学習等を通して、学習を調整し、主体的に学習を最適化する力を育てる。
- ③学習者用コンピュータをはじめとしたICT機器を活用し個別最適な学びと協働的な学びを推進することにより、生きて働く知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成を図る。
- ④武蔵野市教育課題研究開発校として総合的な学習の時間を中心に「武蔵野市民科」に取り組む。地域コーディネーター等と連携して地域の教育資源（人・もの・こと）を生かした探究的な活動を通して、「自立」「協働」「社会参画」に資する能力を育む。
- ⑤けやき学級・いとすぎ学級との交流や共同学習及び、特別支援教育に関する理解教育を推進することで、多様性や障害に対する理解と認識を深め、共に生きようとする態度を育てる。
- ⑥「スタートカリキュラム」を実施し、幼稚園、こども園、保育園等での学びや育ちを基に、児童が入学時から主体的に自己を発揮して学校生活を作ることができるようにするとともに、地域の幼稚園、保育園、こども園との連携を推進し、情報の共有並びに、子供理解や指導の改善を図る。
- ⑦自校給食の特色を生かして、食生活についての正しい知識や技能とともに、食物大事にする気持ちや生産や調理に関わる人への感謝の気持ちを育てる。
- ⑧武蔵野赤十字病院や家庭、地域と連携しながら保健指導等の健康教育を実施することで、心と体の健康についての関心や理解を深め、望ましい生活習慣における自己管理能力を育成する。



本宿小学校

校長 安部 忍 副校長 大澤 史典

所在地 吉祥寺東町4-1-9
TEL 0422 (22) 4723
FAX 0422 (21) 7692
HP <http://honjuku-e.-musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 27年 武蔵野市立本宿小学校開校
30年 市研究奨励校 (社会科) 研究発表
37年 市教育研究協力校 教育評価に関する研究発表
54年 校舎落成記念式典挙行
57年 市研究奨励校 研究発表
平成 元年 ランチルーム落成記念式典挙行
7年 都ボランティア協力校 (7・8・9年度)
10年 都消費者教育・環境教育等課題研究校 (10・11年度)
12年 市教育研究奨励校・総合的な学習の時間 (12・13年度)
14年 市教育研究奨励校・全教科領域 (14・15年度)
15年 文部科学省環境教育実践モデル校 (15・16年度)
18年 市教育研究奨励校 (道徳) 研究発表
19年 図書室の全面リニューアル
22年 市教育研究奨励校 (社会科・生活科) 研究発表
23年 普通教室空調設備設置
24年 開校60周年式典挙行
25年 市教育課題研究開発校 (防災教育) 研究発表
26年 市防災教育モデル校
27年 市学校安全教育モデル校 全国・東京都学校安全教育研究大会開催校
30年 市教育研究奨励校・国語科 (29・30年度)
31年 市教育研究奨励校 (国語科) 研究発表
親子方式給食開始
令和 2年 体育館冷暖房機設置

教育目標

人間尊重の精神を基盤とし、心豊かにたくましく生きることのできる心身ともに健康で知性と感性に富んだ児童の育成を図る。

心の豊かな子 ◎考える子 元気な子 ○ねばり強い子 はたらく子
<重点目標> 「考える子」 「ねばり強い子」

学校の教育目標を達成するための基本方針

- ・言語環境をはじめとする教職員の人権感覚を磨き高め、児童との信頼関係を確立するとともに、互いの違いを尊重し多様性を認め合う態度を育む人権教育を推進する。
- ・「特別の教科 道徳」を要とし、教育活動全体を通して組織的に道徳教育の充実を図り、自己肯定感やいのちを大切にす心、思いやりの心や規範意識の育成を目指す。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業を通して「見方・考え方」を働かせた学びの実現を図る。
- ・学習者主体の問題解決的な学習を通して、思考力・判断力・表現力を育成し、予測困難な時代を生きる力を育む。
- ・運動の日常化を進め、適切な運動の経験や心身の健康について理解を促し、体力の基礎を養い心の安定を育む。
- ・自分の健康や命を守る生活習慣を児童一人一人が身に付けることができるよう、全教育活動を通して健康・安全教育を推進する。また、栄養士と連携して食育の充実に努める。
- ・学習や生活における自己の目標を定め、最後までやり遂げる経験を多く積ませることにより、そこで得られた達成感・成就感を味わわせ、困難を乗り越えることができる力を身に付けさせる。
- ・児童の成長や課題を家庭と共有し連携を図りながら、一人一人に適した指導・支援を行い、やり抜く力を育成する。
- ・自分の役割に責任をもって取り組む活動を通して、自分や友達の考え方やよさを認め合い協働して取り組むことができるよう指導の工夫を行う。
- ・特別活動や学校行事等を通して、児童が友達と協力して成し遂げる体験をさせ、成就感や自己有用感を育む。

特色ある教育活動

- ① 第3～6学年は社会科・理科において学年内で一部教科担任制を実施し、学年全体で児童理解を深めるとともに、授業指導の質的向上を図る。
- ② 「本宿小スタンダード」を活用して、家庭と連携を図り学習規律の徹底を行う。
- ③ 栄養職員と連携し、異学年や給食調理員との交流給食、卒業お祝い会食会、リザーブ給食、世界の料理献立月間等を実施し、望ましい食習慣を通して健康づくりを行う。
- ④ 昼休みを30分間設定した外遊びの奨励や体力旬間など、体を動かす活動を充実させ、児童の体力・健康の向上を図る。
- ⑤ はとの子発表会・はとの子作品展等、児童の表現活動の場を充実させ、豊かな情操と協調性を培う。
- ⑥ 吹奏楽団の活動において、豊かな情操と協調性を養い、学校行事やファイナル・コンサート、ジュニアバンド・ジョイントコンサート等での演奏を通し、日常の練習の成果を発表する。
- ⑦ 地域コーディネーター校内連絡会を定例で行い、地域教育連携担当が中心となり、ゲストティーチャー等、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動に計画的に取り組む。
- ⑧ はとの子コミュニケーションプラン2021において、あいさつ運動やアサーション・トレーニングに取り組み、コミュニケーション能力を育成する。
- ⑨ 三中ブロックでの小中連携活動やキャリアパスポートの活用を通して、発達段階に即して自己の生き方や進路について学ぶ機会の充実を図る。

千川小学校



校長 河村 祐好 副校長 雨宮 加奈

所在地 八幡町3-5-25
TEL 0422(51)3695
FAX 0422(55)5039
HP <http://www.musashino-city.ed.jp/~gakkou012>

主な沿革

- 昭和 29年 武蔵野市立関前小学校として開校
42年 武蔵野市立千川小学校と校名変更
平成 2年 新校舎基本構想発表
3年 武蔵野市研究奨励校（特別活動）研究発表
4年 全国道徳特別活動教育研究会会場校
新校舎基本計画発表
5年 東京都小学校放送教育研究大会開催
新校舎改築工事着工
7年 新校舎棟落成・開校40周年記念式典挙行
体育館棟改築工事着工
8年 体育館棟落成
10年 武蔵野市教育研究校（算数）研究発表
11年 武蔵野市教育委員会教育研究奨励校
12年 自然体験園（わくわく広場）開園式
13年 武蔵野市教育委員会ホームページ活用モデル校
16年 武蔵野市教育研究奨励校（算数）研究発表
開校50周年記念式典挙行
18年 武蔵野市教育研究校（体育）研究発表
20年 武蔵野市教育研究校（道徳）研究発表
21年 武蔵野市教育課題研究開発校（特別支援教育）研究発表
24年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成24年・25年度）指定
25年 武蔵野市教育課題研究開発校（算数・ICT機器の活用）研究発表
26年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
開校60周年記念式典挙行
28年 第17代 河村祐好校長着任
28年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（平成28・29年度）指定
29年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校として研究発表
令和 2年 開校65周年記念集会 SENKA 輪ハッピーフェスタ開催

1 教育目標

(1) 学校の教育目標（◎重点目標）

人間尊重の精神と豊かな心の育成を基盤とし、生涯学習の基礎を培う学習をすすめ、心身共に健康で、主体的に学ぶことのできる人間性豊かな児童を育成する。

◎よく考える子ども 自主性と創造性を伸ばし、生涯にわたる学習の基礎を培う。

- 仲良く助け合う子ども 相手の気持ちを感じ取れる感性や思いやり、誰とでも仲良くできる協調性や社会性を養う。
- 明るく元気な子ども 自他の生命を尊び、健康で主体的な生活ができるような心と体を育てる。
- すすんで働く子ども 地域の一員としての自覚をもち、勤労と責任を重んじる心を育てる。

(2) 特色ある教育活動

- ◎① オープンスクールの特色を生かし有効活用した複線型の学習を展開する。また、専科教員による副担任制を実施し、各階フロアの学年・学級への支援体制を充実させる。
- ◎② 「ラーニングセンター」では、芸術家や児童、地域の方の作品展示（『千川小アートギャラリー（学校館）』）、「ふれあいホール」では児童の音楽・演劇、学習発表、集会活動やプロの演奏会などを行うことで創造力と表現力を養い、豊かな感性と情操を培う。
- ◎③ 学校図書館サポーターや市立図書館と連携し、学校図書館の「学習ステーション」としての機能を高め、課題解決能力を育成する。また、全校読書や年2回の読書ウィークス、読み聞かせ等の活動を充実させることにより、読書に親しもうとする態度、豊かな感性や情緒を育むとともに知的好奇心や創造力、表現力を育成する。
- ◎④ 自然観察園「わくわく広場」での自然との触れ合いや栽培活動、落ち葉拾いや保護者・地域と連携したリサイクル活動を通して、自然保護や環境保全に向けて主体的に行動する態度を育成する。
- ◎⑤ 地域農業関係者、青少協など地域の方々や千川おやじーズ（PTA内組織）との連携を深め、地域・保護者と一体化した学校づくりを行う。
- ◎⑥ 開かれた学校づくり協議会、保護者、児童や、教職員による学校評価の結果を基に、教育活動の成果と課題の検証を行い、学校運営の改善と発展を目指す。
- ◎⑦ 学校ホームページで分かりやすい情報を定期的に発信する。また、学校・学年だより、保護者会等の内容や方法をさらに充実させ、保護者と学校の連携を深める。
- ◎⑧ アスリートの招聘や全校での活動など、4つのテーマと4つのアクションを組み合わせたオリンピック・パラリンピック教育を推進することを通して、体力向上や健康づくりに自ら取り組む態度や、公正・公平な態度、日本の文化とともに異文化も理解しようとする態度を育成する。
- ◎⑨ 「小・中学校合同研修会」及び、幼・保・小の連携を通して、情報を共有し円滑な接続に努める。
- ◎⑩ 「千川小合唱団」の活動を通して歌う楽しみや鑑賞する喜びを味わわせながら情操を豊かにし、個性の伸長を図る。
- ◎⑪ 学習支援教室「火曜まなべえ」「水曜まなべえ」「サマースクール」では、児童の課題に応じた個別指導を行い、基礎学力の向上を図る。

井之頭小学校



校長 赤羽 幸子 副校長 吉佐 輝

所在地 吉祥寺本町 3-27-19
TEL 0422 (51) 7188
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
FAX 0422 (55) 5049
0422 (51) 7500 (かわせみ教室)
HP <http://inokashira-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 30 年 武蔵野市立井之頭小学校開校
31 年 校歌制定
50 年 校舎落成式
51 年 東京都愛鳥モデル校に指定
平成 10 年 富士宮市立井之頭小学校と交流開始
14 年 校庭ビオトープ設置 太陽光発電装置設置
15 年 東京都消費者・環境教育課題研究 全国学校ビオトープコンクールにて奨励賞受賞
18 年 東京都愛鳥モデル校「第 60 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて環境大臣賞受賞
文部科学省豊かな体験活動推進事業（地域間交流）推進校
武蔵野市教育委員会教育研究校研究発表（算数・情報）
20 年 武蔵野市教育委員会研究奨励校研究発表（国語）
武蔵野市教育委員会英語活動モデル校 特別支援教室モデル事業校
23 年 東京都教育委員会人権教育推進校研究発表
26 年 情緒障害等通級指導学級「かわせみ学級」開級
27 年 「第 69 回愛鳥週間全国野鳥保護のつどい」にて文部科学大臣奨励賞受賞
開校 60 周年記念式典
28 年 武蔵野市教育課題研究開発校研究発表（算数）
令和 元年 東京都教育委員会プログラミング教育推進校
武蔵野市教育研究奨励校として研究報告

教育目標

人間尊重の精神を基調とし、心身共に健康で知性と感性に富み、国際社会に貢献できる個性・能力を十分伸ばす教育を推進する。そのために次の目標を設定する。

- ◎すすんで学ぶ子 自ら考え、自分の道を切りひらいていく力をもった子どもを育てる。
- 心豊かな子 自他の人権を尊重し、協力と思いやりを大切にする子どもを育てる。
- きたえる子 自他の生命の尊さを自覚し、心身を鍛え、健康の増進と安全保持に努める子どもを育てる。

特色ある教育活動

- ① 人権教育プログラムを活用した校内研修を充実させて教員の人権感覚を磨き、人権教育年間計画をもとに、全教育活動において人権教育の視点に立った教育活動を行うことで児童の人権感覚を高める。
- ② 箏、三味線及び和太鼓などの演奏を通じて、日本の伝統文化に対する理解を深める。
- ③ 体力向上や健康づくりに自ら意欲的に取り組む児童の育成として、感染症対策を取りながら休み時間の全校児童外遊びを推進し、季節に応じて縄跳び集会や持久走週間などを実施する。
- ④ 旧コンピュータールームをラーニングコモンズとして機能するよう学校図書館の環境を整備し、図書館サポーターと連携して、多様な読書を通して自ら学ぶ力を育成したり、情報を読み解き活用したりする力を育む。また、毎週水曜日朝の全校読書、火曜日朝の保護者ボランティアによる読み聞かせ、読書週間の実施し、豊かな心を培う。
- ⑤ 全体計画及び年間指導計画に基づいて、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、「学ぶ（知る）」「観る」「する（体験・交流）」「支える」の4つのアクションを通して、運動への意欲の高まりや他者を思いやる心を育てる。
- ⑥ 学校医と連携したり地域人材を活用したりしながら、食育リーダーを中心に6年間を系統立てて、計画的に食育を推進し、食育に関する正しい知識と望ましい食習慣を児童に身に付けさせる。
- ⑦ 学校ビオトープ等を活用した動植物の観察やふれあい活動、探鳥会などの愛鳥活動を行い、自然環境に対する関心を培い、生き物を慈しむ心と態度を養う。

関前南小学校



校長 鈴木 健太郎 副校長 土井 玲子

所在地 関前3-37-26

TEL 0422(53)7655

FAX 0422(55)5097

HP <http://sekimaeminami-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和46年 市立関前南小学校の創設
56年 開校10周年記念式典挙行
61年 子ども相撲用の土俵完成
62年 小学校体育研究会研究協力校 市教育研究奨励校として研究発表
平成2年 特色ある教育活動として吹奏楽団を組織
3年 開校20周年記念式典挙行
4年 東京都人権尊重教育推進校 市教育研究奨励校として研究発表
7年 市教育研究校として研究発表 セカンドスクール開始
8年 市教育研究奨励校(～平成9年まで)
12年 市教育研究校として研究発表
13年 開校30周年記念式典挙行 市教育研究奨励校 太陽光パネル設置
15年 プレセカンドスクール開始 地域児童館あそべえ開設
16年 ビオトープ完成
17・19年 市教育課題研究開発校として研究発表
21年 市教育課題研究奨励校として研究発表
22年 吹奏楽クラブ第29回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
23年 開校40周年記念式典挙行
吹奏楽クラブ第30回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞
25年 吹奏楽クラブ第13回東日本小学校吹奏楽大会銅賞
市教育研究奨励校として研究発表
26年 吹奏楽クラブ第14回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
27年 吹奏楽クラブ第15回東日本小学校吹奏楽大会銀賞
連続3年出場の表彰を受ける
28年 市教育研究奨励校として研究発表
吹奏楽クラブ第35回全日本小学校バンドフェスティバル東京都大会金賞
30・31年 武蔵野市教育研究奨励校

教育目標

人間尊重の教育を基盤として、心身ともにたくましく、情操豊かで創造力に富み、生涯にわたって自己陶冶をめざす児童を育成する。さらに、進んで国際社会に参加、協力できる能力と態度を養う。

◎しっかり考える子ども ○すなおでやさしい子ども ○元気な子ども

基本方針

① 「しっかり考える子ども」を育成するために

- ・ 新学習指導要領を踏まえ、学校・地域の実態把握と教科等横断的な視点でのカリキュラムマネジメントの充実に努め、組織的・計画的に教育活動の質の向上と教員の資質向上を図る。
- ・ 保護者・地域と連携し、言語活動の充実に努めることで、自ら考え行動し、協働的に課題解決し、自分に合った表現で相互に思いや考えを伝え合う児童の育成を図る。
- ・ 教科等横断的に、「自立」「協働」「社会参画」の視点を取り入れた「武蔵野市民科」を推進し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。
- ・ 教育相談・特別支援教育校内委員会の組織・体制の充実に努めるとともに、インクルーシブ教育の理念に基づき合理的配慮を行い、個に応じた指導を行うことで、知識・技能の確実な習得を図る。

② 「すなおでやさしい子ども」を育成するために

- ・ 「特別の教科 道徳」の目標、内容を踏まえ、「問題解決的な学習」「体験的な学習」を取り入れる等、「考え」「議論する」道徳教育の充実に努めるとともに、自他の生命を大切にし、あらゆる偏見や差別をなくす心の教育に努め人権尊重を基盤とした教育を推進する。
- ・ 伝統や文化に関する教育を充実させて豊かな感性や情操を育むとともに、社会とのつながりを大切にしながら地域社会の一員としてよりよい地域づくりに積極的に参加できる資質や能力を育成する。
- ・ 「いじめ防止基本方針」「SNS ルール」や「ふれあい月間」「いじめ防止重点月間」の取り組みを通して、家庭・地域と連携し、好ましい人間関係を育てる。

③ 「元気な子ども」を育成するために

- ・ 平成 31 年度の研究成果や体力調査の結果を生かして、日常的な体育指導の充実に努め、運動やスポーツに親しむ児童を育成し、体力の向上を図るとともに、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培う。
- ・ 食育の全体計画に基づく授業を実践し、食育及び健康教育に関する指導を充実させる。

特色ある教育活動

- ① 「自立」「協働」「社会参画」をキーワードとした「市民性」を育成する観点から、生活科や総合的な学習の時間を中心に各教科の年間指導計画を見直し、「市民性を高める教育」「武蔵野市民科」を教科横断的に、地域支援コーディネーターと連携し、地域の特性を生かして進める。
- ② プロジェクタやタブレット PC 等の ICT 機器を活用し、見つけた情報を活用しながら他者と協働することができるような指導の工夫を図る。また、プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けられるような学習活動を取り入れる。
- ③ 吹奏楽クラブを組織し、音楽に親しむ態度や協力する態度、粘り強くやりぬく力等を育成するとともに、音楽朝会等の発表の場を活用して、全児童に音楽を愛する心情と感性を育てる。また、地域に演奏を披露し、地域の方々との交流を深める。
- ④ 学校に土俵があるという施設の特色を生かして、互いに競い合うことの大切さやきまりを尊重する態度、礼儀正しい態度、勝敗にこだわらず相手を思いやる心などを育成する。
- ⑤ 今年度開校 50 周年の記念の一年となる。学校を愛する心や地域とともに歩んできた歴史を発達段階に応じて体験したり、学んだりする一年としたい。記念誌の作成、校庭の人文字の記念写真撮影や記念集会、式典などをこの一年間で計画している。

桜野小学校



校長 金子 圭子 副校長 本橋 忠旗

所在地 桜堤1-8-19
TEL 0422(53)5125
0422(53)5651 (こぶし教室)
0422(54)8655 (こだま学級)
FAX 0422(55)5071
H P <http://sakurano-e.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 平成 8年 武蔵野市立桜野小学校開校 開校式典挙行、校歌と校章を制定する
14年 体育館・通級学級棟完成
15年 ビオトープ完成
18年 開校10周年記念式典挙行
22年 北校舎増築工事完了 自校式給食開始
24年 武蔵野市教育課題研究開発校(2年次)研究発表会開催
26年 西校舎増築工事完了
27年 武蔵野市教育研究奨励校(3年次)研究発表会開催
28年 開校20周年記念式典挙行
29年 特別支援教室「こぶし教室」開設
30年 個別支援教室「さくらのステップルーム」開設
令和 2年 特別支援教室拠点校増設に伴いこぶし教室の巡回校が桜野小、第二小、境南小となる

教育目標

- ◎ 思いやりのある子ども
- 自分の考えをもつ子ども
- 明るく元気な子ども

特色ある教育活動

- ・ 国語科の説明的文章の読みを通して、身に付けた力を他教科等の学習や活動に生かしたり、関連付けたりできるよう、「学ぶー使うー生かす」の学びのサイクルを意識した教科横断的な学習活動等を展開する。
- ・ 学習者タブレット型PC導入後、3年間の試行期間は、「慣れるー使うー使いこなす」の見通しをもち、校内の推進チームを中心とした段階的・計画的な指導を行う。
- ・ 全校での朝読書、第3学年での読書動機付け指導、桜野ボランティアによる読み聞かせ、学校図書館サポーターや学校図書館システムを活用して読書指導の機会を充実させ、言語能力を高めるとともに、豊かな情操を育む。また、自ら学ぶための学習・情報センターとしての学校図書館の有効活用を進める。
- ・ 第1学年の4月に授業時数外で小1ギャップの解消に向けた「武蔵野スタートカリキュラム」を活用した活動を行い、望ましい学級集団づくりを行う。
- ・ 第1学年の授業時数外で年間6時間、第2学年の授業時数外で年間9時間、外国語を使った遊びの時間を設定し、第3学年からの外国語活動に円滑に取り組むことができるようにする。このことで、小学校6年間を通して、外国語に慣れ親しむ環境づくりを行う。
- ・ 外国語活動及び外国語、音楽科、家庭科、図画工作科、国語科の一部において、専科教員や武蔵野市講師を配置し、専門的かつ一貫性のある指導ができるようにする。また、学年の実態に応じて学習指導（補助）員やTA等を配置し、児童への個別支援ができるようにする。
- ・ 保護者との連携・理解のもとに個別支援教室「さくらのステップルーム」では、算数の四則計算に特化した個別指導を行い、基礎的学力の定着と意欲の向上を図る。
- ・ オリンピック・パラリンピック教育を推進し、ゲストティーチャーとの交流活動やスポーツ体験活動を通して、競技への関心を高めるとともに、生涯にわたってスポーツを楽しむ意欲を育てる。
- ・ 吹奏楽クラブの活動を通して、音楽を愛好する心と協力して粘り強くやり抜く態度を育てる。
- ・ 地域の教育資源（商店や福祉、大学、各種協議会等の施設や人材）を活用した学習を充実させ、地域社会の一員としての理解と市民性を高め、共に生きる心と実践する力を育てる。
- ・ 自校給食の利点を生かし、栄養士を活用した栄養指導や交流給食、調理員等との交流「さくらのクッキング」の実施や食育推進チーム、委員会活動を中心にした食育の充実を図り、望ましい食習慣の定着や食文化への理解を深める。
- ・ 保護者による教育ボランティア（桜野ボランティア）や地域コーディネーターを有効に活用し、保護者や地域人材の教育活動への支援体制を充実させるとともに、専門的な知識や技能を教育活動に導入し、体験活動や実技指導等の充実を図る。
- ・ 学校だよりや学年だより、学校ホームページやオンライン会議システム、各種アンケート等の活用の充実を図りながら、学校と家庭、地域の相互の理解を深める。教育活動の成果や課題及びその解決策等を積極的に発信し、社会に開かれた教育課程の実現を目指す。

第一中学校



校長 中嶋 建一郎 副校長 清水 大史

所在地 中町3-9-5
TEL 0422(51)8041
0422(51)1136 (エコールーム)
FAX 0422(55)5186
H P <https://dail-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和22年 町立武蔵野第一中学校設立
市政施行により武蔵野市立第一中学校と校名変更
- 28年 校歌制定
- 38年 新校舎落成
- 57年 体育館・特別教室・プール落成
- 59年 難聴学級(エコールーム)開設、視聴覚教育全国大会開催
- 63年 新音楽室(音楽ホール)落成
- 平成2年 市研究奨励校(学年・学級経営)研究発表
- 5年 コンピュータ室完成
- 6年 文部省「教育課程実施調査協力」指定校(2年間)
- 9年 創立50周年記念式典挙行
- 11年～ 文部省「スクールカウンセラー活用調査研究」委託校、放送機器改修
- 17年～ 東棟内装改修工事(順次3年間)、東棟・西棟WC改修工事、
東門改修工事完了(順次2年間)
- 19年 創立60周年記念式典挙行
- 21年 学校給食開始、東・西棟耐震補強工事完了
- 22年 市教育研究奨励校(道徳)研究発表
- 23年 空調設備設置工事完了
- 25年 雨水貯留浸透施設設置工事完了
太陽光発電設備設置工事完了、グラント整備工事完了
- 26年 都言語能力向上拠点校(2年間)、非常災害用トイレ設置工事完了、
ガラス飛散防止フィルム貼替工事完了
- 27年 研究発表会「思考力・判断力・表現力の育成」～言語活動の充実を通して～
- 28年 電子黒板機能付プロジェクター設置
- 29年 開校70周年記念式典挙行
- 31年 体育館空調機設置
- 令和2年 新型コロナウイルス感染拡大予防のため臨時休業(3/3～3/25、4/8～5/31)

教育目標

- 正しく判断し進んで実行できる人間になろう
- 思いやりのある心豊かな人間になろう
- 心身ともに健康で明朗な人間になろう

特色ある教育活動

- ① 地域との連携による一中フェスタ（青少協・地域・保護者の協力による体験活動）の開催、各種地域まつり、関係小学校の運動会、青少協の行事、地域防災訓練への運営参加などの取組を通じて、学校・家庭・地域の連携を一層強化し、健全育成を図るとともに生徒の市民性を育む。
- ② 年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に入る習慣を身につけさせるとともに、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。
- ③ 生徒に「授業理解度調査」を実施し、各教員がその結果を分析することにより、よりよい授業づくりに生かしていく。
- ④ 放課後の図書館開放を学校図書館サポーターや地域人材と連携して取り組み、恒常的な読書習慣の形成を図り、豊かな心や情操を育み、自ら学ぶ意欲や知的好奇心、表現力の伸長を図る。そのために、本を身近に感じられる環境を整えていく。
- ⑤ 「地域の教育力」の活用、生徒会のハートカード（地域高齢者へのお便り作成）活動、人権理解学習、ユニセフ募金活動、コミュニティセンターでの合唱等による地域高齢者との交流を通して、社会奉仕の精神や人権教育を充実させ、地域との連携を一層深めるとともに、生徒の市民性を育む。
- ⑥ 体育祭では、全校体制で集団演技や学年種目、全員リレー等に取り組み、互いに協力することで、運動に対する肯定的な意識を高め、主体的に運動に取り組む姿勢を育む。また、市内連合陸上競技大会や部活動などの様々な機会を通して体力の向上を図る。
- ⑦ 第一中学校ブロックの小・中学校合同研修会を通して、生活指導や学習指導に対する情報交換等を行うとともに、小学生を対象とした体験授業及び部活動体験の実施等により、連続性のあるきめ細かな指導を充実させる。また、小・中学校の学校行事の相互協力を行う。
- ⑧ オリンピック・パラリンピック教育では、4つのテーマ「オリンピック・パラリンピックの精神、スポーツ、文化、環境」、4つのアクション「学ぶ（知る）、観る、する（体験・交流）、支える」を組み合わせて、各教科等や総合的な学習の時間、特別の教科 道徳、学級活動での横断的な全体計画や年間指導計画を作成し、多様な活動を推進する。
- ⑨ 学校公開や学校公開週間等により、広く教育内容を公開し、保護者や地域の意見を取り入れながら、開かれた学校づくりを推進する。また、ホームページ・各種たよりによる積極的な情報発信を行い、教育活動の相互理解に努める。
- ⑩ 救命救急講習、防災訓練を命の大切さを学ぶ学習場面と捉え、自他の生命を尊重する心を育てる。また、それらの取組や地域行事等への参加を通し、地域や保護者との一層の連携・協働に努め、市民性の育成を図り、地域社会・行政と連携しながら、実践的な地域防災教育を推進する。
- ⑪ 土曜授業に対する振替休業日、事務整理日、長期休業中の学校閉庁日の設定等により教職員の働き方改革に取り組み、教職員が誇りとやりがいを持って働けるよう職務の効率化を図ることにより、教育の質の向上を目指す。

第二中学校



校長 菅野 由紀子 副校長 二日市 克

所在地 桜堤 1-7-31
TEL 0422 (52) 2148
0422 (54) 9103 (こぶし教室)
FAX 0422 (55) 5194
H P <http://dai2-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 24年 市立第二中学校の創設、校歌制定
28年 5月10日を開校記念日と定める
43年 新鉄筋校舎完成（現在に至る）
54年 情緒障害学級（こぶし学級）開設
60年 重層式体育館完成
平成 3年 東京都学校保健優良校として表彰
5年 コンピュータ室等増築工事完了
4～6年 都ボランティア活動普及事業協力校
11年 武蔵野市教育研究校（平成13年度まで）
14年 校舎東棟内装工事着手、教育目標の改訂
16年 ティーチングアシスタント事業実践校 校舎東棟内装工事完了
19年 屋上防水等改修工事、受水槽更新工事、派遣相談員配置
20年 校舎東棟・校舎西棟耐震補強工事、校舎西棟天井改修完了、学校給食開始
22年 校舎東棟トイレ改修工事
23年 こぶし学級二中校舎内に移転、屋上太陽光発電システム稼働開始
27年 武蔵野市タブレット導入校
29～30年 武蔵野市小中連携教育研究校～小・中学校教員の相互乗り入れ授業実施
30年 東京都道徳教育推進拠点校
令和 元年 開校70周年記念式典
2年 特別支援教室（こぶし教室）開設・拠点校
3年 武蔵野市教育委員会教育課題研究開発校（武蔵野市民科）（令和4年度まで）

教育目標

- 進んで学習する人 ○心身ともに健康な人 ○夢の実現を目指す人

特色ある教育活動

- ① 生徒の学習習慣、学習規律を確立する一つの方策として、現在各学年が始業時の時間を有効活用して取り組んでいる朝読書を継続し、知的好奇心や創造力を育み、穏やかに一日のスタートを切る時間とする。
- ② 「自立」、「協働」、「社会参画」をキーワードとした「市民性」を育成する観点から、各教科等の年間指導計画を見直すカリキュラムマネジメントを推進し、「市民性を高める教育」を教科との関連を図りながら推進する。
- ③ 放課後や休業中に行っている学習支援教室や大学生・卒業生による個別学習（武二中お勉強プロジェクト）を地域コーディネーターの協力のもとに継続し、個に応じた指導を充実させ、基礎学力の確実な定着を目指す。
- ④ 数学、英語以外のすべての教科においても生徒一人一人の個に応じたきめ細かい指導を行うために、学習指導補助員による支援の活用、年間を通した学習相

談、補充教室の実施など、基礎・基本を確実に習得する機会を設ける。

- ⑤ 学校図書館サポーターとも連携した読書指導の推進、図書館の利用拡大を図るとともに、学校図書館の蔵書を計画的に点検し、生徒が自ら学ぶ場として学校図書館の読書環境と機能を活性化させ、教育活動の充実を図る。また、読書感想文コンクールなどに積極的に取り組ませる。
- ⑥ 読書の楽しさや喜びを味わい、言語活動の基盤としての読書活動を充実させるため、全校一斉の朝読書の時間として、6月第3週と11月第4週の1週間を読書週間として位置付ける。期間中は朝読書の時間をさらに充実させるため、学校図書館担当教諭を中心に担任、国語科、図書委員会・学校図書館サポーターと連携し、生徒が本を読もうとする気持ちをさらに高める取り組みを行う。
- ⑦ 生徒の興味・関心・個性・特性を伸長する機会として部活動を開設する。異年齢集団での切磋琢磨と、協調性や達成感の獲得もねらいとする中で活動内容の質の向上を図る。
- ⑧ 食育指導の一環として給食指導の充実を図ると同時に、食についての正しい理解を深め、食を選択する力を習得し、望ましい食習慣を身に付けさせる。また、食物アレルギーの生徒への対応を全教職員で共通理解し、保護者と連携した安全な食の提供に努める。
- ⑨ 避難訓練・防災訓練を通して、生徒の危機回避能力の獲得を図る。また、地域と学校が連携した地域防災教育などの市民性を高める活動を通して、災害時は拠点施設として教職員と生徒が地域のために自助共助活動を行えるよう準備をするとともに生徒の「自立・協働・社会参画」の意識を育成する。
- ⑩ 東日本大震災を教訓にした防災マニュアルや教員作成の地域安全マップを活用するとともに、災害時の危機管理能力を育成するために、市の防災計画に沿って中学生が援助できる活動を考え、消防署・市防災課・地域など、市民と協働した防災訓練を毎年積み重ねていく。
- ⑪ 職場体験学習サポート登録企業一覧の活用や地域の大学・企業などの知的環境及び市民文化団体などの文化的環境を生かし、地域の行事への参加を通して、自分たちが生活する地域についてより深く知り、地域に貢献しようとする態度を育成する。
- ⑫ 異校種（小学校、高校、大学）との連携や、地域の人材や資源の活用を図る。特に、地域の小学校とは生徒会を中心とした小学校訪問による小中の交流や、授業・外国語活動・部活動などを活用した双方向の活動を進めるとともに、教育課程の連続性に重点を置いた相互交流を深め、連携を計画的に推進する。また、生活指導等の共通理解の促進を図る。
- ⑬ 学校教育の質的向上を図るため、教職員の誇りとやりがいをもてる学校経営を目指し、組織的な業務の見直しと仕事の進め方の効率化を行う。

特別支援教育

- ① 特別支援教室「こぶし教室」と教科担任、学級担任とか緊密に連携し、個に応じた適切な指導ときめ細かな自立支援を行い、心身の調和的発達の基盤を培い、学ぶ意欲の向上を目指す。
- ② 個別の指導計画や学校生活支援シート（個別の教育支援計画）に基づく適切な指導を行い、情緒の安定と対人関係の形成の基盤を養う。また、特別支援教育コーディネーターを中心に校内委員会を定期的に開催して必要な支援の検討を行い、保護者と連携して社会的な自立と地域の一員として生きる力を培い、退級を目指していく。
- ③ インクルーシブ教育の理念を踏まえて、「障害を理由とする差別の解消に関する法律」（障害者差別解消法）に基づく合理的な配慮を行う。そのために、特別支援教室の教員の専門性を生かした双方向交流や協働を一層推進し、組織的な支援体制の確立を図り、合理的配慮に基づいた個々の教育的ニーズに応える。



第三中学校

校長 河合 雅彦 副校長 塩尻 浩

所在地 吉祥寺東町 1-23-8

T E L 0422 (22) 1426

F A X 0422 (21) 7694

H P <http://dai3-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 26 年 市立第三中学校の創設
28 年 校歌・校旗制定、理科教育研究発表
34 年 体育館完成
36 年 文部省実験校、国語科研究発表
47 年 都教委教育課程実験校 研究発表
54 年 文部省機器利用英語 教育研究発表
55 年 文部省帰国子女教育研究協力校
63 年 ランニングコース完成
平成 4 年 文部省機器利用英語教育研究指定校として研究発表
8 年 東京都教育委員会学校週 5 日制実施研究校として研究発表
13 年 開校 50 周年記念式典
15 年 都教育委員会少人数学習集団による指導法の研究推進校及び市教育委員会教育研究校として研究発表
19 年 武蔵野市・東京都授業力向上研究指定校として研究発表
20 年 校庭一部芝生化
21 年 雨水貯留浸透施設工事、校庭改修
23 年 開校 60 周年記念式典
25 年 理数フロンティア校指定校
26 年 オリンピック教育推進校
27 年 屋上太陽光発電設備設置
武蔵野市タブレット P C 活用モデル校
28 年 電子黒板機能付プロジェクター設置
29 年 武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
令和 2 年 こぶし教室（特別支援教室）設置
3 年 武蔵野市学校図書館活用モデル校
開校 70 周年記念式典

教育目標

個性豊かな文化の創造と民主的な社会の発展に努め、進んで平和的な国際社会に貢献できる、人間性豊かな社会人を育成することを目標として、次の標語をかかげる。この一つ一つを目標とするだけでなく、それらが一体となり、関連連し、相補うものとする。

知性豊かな人になろう 情味のある人になろう 品のよい人になろう
健康な人になろう 骨身を惜しまず働く人になろう

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「知性豊かな人」を育成するために

各教科において基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るとともに、言語活動を充実させた授業を推進し主体的・対話的で深い学びを实践させることにより、思考力・判断力・表現力等を育成する。

イ 「情味ある人」「品のよい人」を育成するために

人権尊重の精神を基盤とし、教育活動全般を通し、一人一人がかけがえのない人間として互いを信頼し、尊重し合いえる人間関係を構築させ、豊かな心や感性を育成する。

ウ 「健康な人」を育成するために

健全な心身の育成のため、健康にかかわる教育活動等を通して、望ましい生活習慣の確立や体力の向上と心の健康の維持増進に努める態度を育成する。

エ 「骨身を惜しまず働く人」を育成するために

文化・芸術活動やボランティア活動、自治活動を中心に生徒会活動を通して、生徒の自主性や協調性を育み、多様な社会に貢献できる生徒を育成する。

特色ある教育活動

- ・本校の教育理念である「責任ある自由」のもと、生徒の自主性・主体性を生かした教育活動を展開し、充実・発展させる。
- ・危険を予測し回避する能力や他者を守る能力などを身に付けるために、薬物乱用防止教育（セーフティ教室等）、交通安全教育（交通安全教室等）、防災教育（地域と連携した防災訓練等）を推進する。安全教育では防災ノートの活用を年間指導計画に位置付ける。
- ・学区小学校と合同研修会(研究発表会等への参加、学習指導、生活指導、進路指導、特別支援教育等)の実施、小・中学校9年間を見通した効果的な教育活動の充実を図る。また、スムーズな中学校生活につながるよう、小学校6年生を対象とした新入生交流会を実施する。
- ・地域人材を活用して、学力向上を目指した「土曜日・定期考査前の学習支援教室」や「夏休み学習教室」及び各種検定(英検・漢検・数検)試験への取組などを実施する。
- ・「ボランティア活動（高齢者の方との関わり、花の球根や苗のプラントづくり）」を中心とした生徒会活動、青少年問題協議会三中ブロックや地域の関係諸機関との連携を通して、地域や社会への理解を深め貢献しようとする意欲を育み、市民性を高める教育を推進する。
- ・武蔵野市給食・食育振興財団と連携して、教員と栄養士・調理員による合同調理実習等を通して、望ましい食習慣を身に付けさせ、健康な生活を送ることができる能力の育成に努める。
- ・朝読書期間を設定し、読書の習慣を定着させることを通して、豊かな感性や情緒を育み、知的好奇心や創造力、表現力を育成する。また、図書館担当教員を中心に、学校図書館サポーターと連携し、学校図書館の活用をより活発化させ、読書活動の充実を図る。

第四中学校



校長 竹山 正弘 副校長 金本 泰介

所在地 吉祥寺北町5-11-41
TEL 0422(51)7675・7676
0422(51)7677(群咲学級)
FAX 0422(55)5195
H P <https://dai4-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- | | | |
|----|-----|---------------------------------|
| 昭和 | 28年 | 入学式、一中より2年生133名、新1年生122名 |
| | 28年 | 第一期改修工事落成(元中島飛行機青年学校) |
| | 28年 | 徽章バッヂを制定(けやきの葉図案) |
| | 28年 | 開校式(この日を開校記念日と定める) |
| | 30年 | 第一回卒業式 卒業生144名 |
| | 31年 | 群咲学級開設 2学級(木造校舎) |
| | 33年 | 校歌制定(作詩 川崎庸三、作曲 国枝重寿) |
| | 35年 | 体育館竣工 |
| | 38年 | 十周年記念式典 |
| | 40年 | 群咲学級新校舎落成 |
| | 42年 | プール施工工事完了 |
| | 43年 | 十五周年記念式典、記念事業(岩石園造園) |
| | 44年 | 市研究指定校として学級活動研究発表 |
| | 48年 | 二十周年記念式典、記念事業(花壇整備) |
| | 50年 | 校舎落成記念式典 |
| | 52年 | 群咲学級、市研究協力校として教育課程の学習展開について研究発表 |
| | 54年 | いぶき学級校舎竣工 |
| | 58年 | 三十周年記念式典 |
| | 58年 | いぶき学級開級十周年記念行事 |
| | 61年 | 学校保健統計調査優秀校として文部大臣賞を受賞 |
| | 61年 | 市視聴覚教育研究奨励校公開授業、研究発表 |
| 平成 | 元年 | 東京都帰国子女教育推進校 公開授業、研究発表 |
| | 3年 | いぶき学級校舎竣工、新校舎移転 |
| | 3年 | 群咲、いぶき学級校舎落成記念式典 |
| | 4年 | 体育館・温水プール等改築竣工記念式典 |
| | 5年 | 四十周年記念式典 |
| | 6年 | 東京都体力づくり研究協力校、公開授業、研究発表 |
| | 11年 | 文部省スクールカウンセラー活用調査研究発表 |
| | 15年 | 五十周年記念式典 |
| | 21年 | 教育課題研究開発校、公開授業・研究発表(特別支援教育) |
| | 23年 | 空調設備工事完了 |
| | 24年 | 校舎棟エレベータ工事完了 |
| | 25年 | 六十周年記念式典 |
| | 28年 | 屋上ソーラーパネル工事完了 |
| | 29年 | 東京都スーパーアクティブスクール指定 |

教育目標

人権尊重の精神に基づき、心身共に健康で、人間性豊かな生徒の育成を目指す。また、生涯を通じて主体的に学ぶことのできる基礎を培う教育の視点に立って、次の目標を設定する。

- 進んで学習しよう
- 力をあわせて働こう
- 励ましあって身体を鍛えよう

学校の教育目標を達成するための基本方針

ア 「進んで学習しよう」を達成するために

進んで考え、適切に表現し、自ら伸びようとする態度と能力を育てる。

- 基礎・基本の定着と言語活動の充実による思考力・判断力・表現力の育成

イ 「力をあわせて働こう」を達成するために

自他を敬愛し、自然や他者と共生していく心と態度を培う。

- 特別支援教育の推進、道徳教育および人権教育の充実

ウ 「励ましあって心身を鍛えよう」を達成するために

心身ともに健康で活力ある生活を営むための、健康の促進と安全について理解を図る。

- 基本的な生活習慣と心身の健康の基礎の育成

エ 3つの目標を達成するために

- SDGs（持続可能な開発目標）を意識した国際理解教育や環境教育等の推進と武蔵野市民科の実践

- 発達段階を踏まえた学習指導、生活指導、キャリア教育の充実

- 学習者用コンピュータを活用した学習指導や不登校傾向のある生徒の対応等個に応じた生活指導の充実、新学習指導要領による授業実践

- 地域の教育力による教育活動と学校評価を活用したPDCAサイクルの実践

特色ある教育活動

- ◎ 地域の協力のもと、1年次に救命講習、2年次に地域や諸機関と連携した防災訓練、3年次に福祉・介護についての体験的な学習を学年の全生徒を対象に行い、体験的・奉仕的な活動を充実させ、技能の習得とともに安全・防災・福祉に対する意識を啓発し、地域に貢献できる人材の育成を目指す。
- ◎ 保健体育科において総合的な基礎体力の向上を目指し、6月から11月までの温水プールでの水泳指導、毎時間の体力向上を目的としたトレーニングを取り入れる。
- ◎ 学習者用コンピュータ等のICT機器を適切にかつ効果的に活用して主体的に情報を収集し、課題解決に必要な情報を選択し、分かりやすく表現したり発表したりする能力を育成する。そのために、プレゼンテーションソフトを使ったスピーチや職場体験学習、卒業研究等の発表会等を実施する。また、その活動を通して、情報化社会において適切な活動を行うための基本となる技能や表現、考え方、態度及び情報モラルの育成を図る。
- 開かれた学校づくりの一つとして、学年・学校だよりや学校ホームページの充実を図り、積極的な情報公開をしていく。また、年5回の学校公開や学校行事の公開によって、保護者・地域に常に開かれた学校づくりを推進していく。
- 年2回以上、読書月間を設け、生徒の意欲的な読書活動を推進する。また、学校図書館担当教諭を中心に学校図書館サポーターとの連携を重視し、図書館情報を積極的、計画的に提供するとともに、読書指導や調べ学習の充実を図る。
- 家庭において、学習の見通しを立てたり、学習したことの振り返りを計画的に行わせたりする指導方法を工夫し、生徒が主体的に学習に取り組む態度を育成する。

第五中学校



校長 刀根 武史 副校長 沖山 弘美

所在地 関前 2-10-20
TEL 0422 (52) 0421
FAX 0422 (55) 5258
HP <https://dai5-jh.musashino-city.ed.jp/>

主な沿革

- 昭和 36年 武蔵野市関前 960 番地に設立認可、校章制定（原案作成 2 年中村常夫）
38年 校歌制定
51年 6月1日を開年記念日に指定
平成 8年 第1回セカンドスクール実施（志賀高原）
14年 少人数学習指導開始（国・数・英）
17年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
18年 教育課題研究開発校「中学校における部活動の役割と課題」として研究発表
21年 武蔵野市教育研究奨励校「授業改善と教育課程の工夫」として研究発表
23年 南北棟教室空調工事完了、開校 50 周年記念式典挙行
24年 太陽光発電工事完了、屋上防水工事完了
27年 東京都人権尊重教育推進校、武蔵野市教育研究奨励校として研究発表
28年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問
29年 東京都道徳教育推進拠点校
31年 体育館空調設備工事完了
令和 元年 部活動指導員導入モデル校
2年 特別支援学級「こぶし学級」設置

教育目標

生徒の「生きる力」を育み、人権を尊重し、主体的に行動できるたくましい生徒の育成を目指して次の目標を設定する。

- ◎ 自ら考え、進んで行おう
- あたたく、広い心を持とう
- 互いに鍛え、高め合おう

主体的対話的で深い学びの実現を目指し、本年度は「自ら考え、進んで行おう」を重点目標とし教育活動を推進する。

特色ある教育活動

「あたりまえのことを、あたりまえに～みんなが輝く武蔵野五中～明るく、元気に、和やかに」

(1) 言語に関する能力の向上を図る指導の充実

- ◎ 話すこと「発表」と話すこと「やり取り」に取り組むポスターセッションを全学年で行う。

- ・朝の10分間の読書活動を励行し、進んで読書に親しむ態度を育て、読書量と読書の質の向上を図る。
- ・生徒が自ら学ぶ学習・情報センターとしての学校図書館の機能を活性化させるとともに、市立図書館等と連携を図り、学校図書館を活用した教育活動の充実を図る。

(2) 小学校との連携協力

- ◎学区の小学校の第六学年の体験授業、部活動紹介を実施し、小学校との連携を図る。
- ・小・中学校合同研修会を実施し、共通の課題に対する意見交換等を行い小中の連携を図る。

(3) 地域の知的・文化的財産の活用

- ◎近隣の大学や、武蔵野市国際交流協会、武蔵野市民社会福祉協議会、桜堤調理場等との連携を推進し、教科の出前授業や食育指導、体験活動の機会の充実を図る。
- ・地域コーディネーターと連携して、保護者や地域住民が学習指導や安全対策などで、学校を支援する運営体制の構築及び地域社会に対して、学校が地域の役割を担う教育活動の実施について一層の充実を図る。

(4) 地域との連携の推進

- ◎「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と家庭や地域との双方向の意見交流を深め、学校内評価・学校関係者評価を生かした、学校経営の改善・充実を図ることで、質の高い学校教育を目指す。さらに、評価結果を公表し保護者等への説明責任を果たす。
- ・学校・学年日より、ホームページの充実など、様々な機会を通じて学校から家庭、地域への積極的な情報発信に努め、家庭や地域と連携した生きる力の育成を図る。
- ・基礎学力の定着と向上のために、武蔵野市学習指導員による放課後と夏季休業中の学習支援教室（えんぴつの会）を充実させる。
- ・地域コーディネーターと連携し、地域の教育力を活用した教科や総合的な学習の時間、部活動等の充実を図る。
- ・生徒会を中心にボランティア活動や地域とともに行う美化活動等に積極的に取り組ませて、奉仕の心や市民性を育成する。

(5) 教育相談の充実

- ◎生活振り返りシートやスクールカウンセラーや市派遣相談員と生徒との個人面談を実施し、生徒が相談する環境を整え、いじめの未然防止と不登校等の早期発見、早期解決につなげる。
- ・不登校生徒等に対し組織的に対応するために、教育支援センターや関係諸機関との連携を図り、教育相談を充実させる。
- ・学校いじめ対策委員会を中心に、教育相談機能を充実させ、「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの未然防止、早期発見、早期対応、重大事態への対処について、家庭・地域・関係諸機関との連携を図りながら、組織的かつ迅速に対応する。

(6) オリンピック・パラリンピック教育の充実

- ◎運動・スポーツに親しむ生徒を育成するとともに、全体計画を見直し、各教科等を含めた教育活動全体を通じて、すべての学年において年間35時間程度の取組を組織的・計画的に実践する。
- ・オリンピック・パラリンピックの歴史や意義、国際親善や世界平和に果たす役割を正しく理解し、スポーツを通して、心身の調和的な発達を促し、進んで平和な社会の実現に貢献する意欲や態度を育成する。

第六中学校



校長 若槻 善隆 副校長 田代 裕司

所在地 境3-20-10
TEL 0422(53)6311
0422(32)6140 (いとすぎ学級)
FAX 0422(55)5212
H P <http://dai6-jh.musashino-city.ed.jp/>

【主な沿革】

- 昭和 46年 市立第六中学校開校（市立第二中学校、桜堤小学校舎を借用して発足）校章制定
48年 校歌制定
49年 病虚弱学級（いとすぎ学級）開設
52年 庭球（硬式）コート完成
56年 増築校舎完成
59年 学校視聴覚教育全国大会会場
平成 5年 コンピュータ室開設
6年 市教育研究奨励校（コンピュータ）研究発表、体育館改修工事完了
7～9年 市教育研究指定校、研究発表（パソコン通信）
11～14年 文部省・郵政省マルチメディア活用研究校
18年 東京都情報モラル教育実践モデル校研究発表
21年 西校舎棟耐震補強工事完了
23年 開校40周年記念式典、太陽光発電設備工事完了
24年 文部科学省美術科研修指定校、都中学校体育連盟研究奨励校（武道：相撲）
25年 都中学校体育連盟研究奨励校研究発表（武道：相撲）・無線LANパソコン導入
26年 テキサス州ラボック市よりジュニア大使訪問、いとすぎ学級40周年記念式典
28年 雨水貯留浸透施設設置及びグラウンド整備工事完了
29年 非常災害用トイレ設置工事完了
30年 西校舎棟外壁改修1期工事
令和 元年 西校舎棟北側サッシ等改修工事、特別支援教室設置工事
2年 東校舎棟トイレ改修工事完了

【教育目標】

1. 学校の教育目標

わたくしたちは創造する

未来に生きる人づくりをめざし たがいに心を通わせ 真実を学び教える

武蔵野の自然を愛し 生命の尊さと働くことの喜びを知り 無限の可能性を追い求めていく

○力いっぱい自分の能力を伸ばそう

○みんなで考え実行しよう

○健康で心ゆたかな人になろう

2. 学校の教育目標を達成するための基本方針

○「力いっぱい自分の能力を伸ばす」生徒を育成するために

①学習・行事等の教育活動において、自分の良さや可能性を信じ、目標や夢をもって力を発揮することで、自信や意欲を高めることができるような教育活動を図る。

②新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を充実させ基礎的・基本的な学力の定着と、学んだ内容の活用を目指し、分かりやすく、生徒の興味関心を高められる授業の工夫・改善を図ることで、生徒が生涯にわたって能動的に学び続けることが

できる力を育む。

○「みんなで考え実行する」生徒を育成するために

- ①学校行事や生徒会活動において生徒同士の関わり合いを大切にしながら、生徒の自主的・主体的な活動を重視し成就感や達成感を味わわせるとともに、体験活動を基盤にして各学年が創意・工夫を図り、夢や希望のある自己の生き方を考えられる生徒の育成を推進する。
- ②一人一人の生徒が役割をもち、義務と責任の関係を考えさせるとともに、自己の考えを述べ、違う意見を認めながら、学び高め合える活動を設定し、自他を尊重する力を育む。

○「健康で心ゆたかな」生徒を育成するために

- ①「特別の教科 道徳」の授業や人権教育、教育活動全般を通して、一人一人が互いに尊重し合い、自尊感情や自己肯定感等の自他を敬愛する態度の育成を図り、あらゆる偏見や差別をなくす教育活動を推進し、いじめを許さない姿勢や態度を培わせる。
- ②基本的な生活習慣を身につけ、健康で規則正しい生活ができるよう、全教育活動を通して健全育成の推進を図るとともに、体育や健康・安全に関する教育活動を計画的に実践し、体力の向上と心身の健康の保持・増進を図る。

3. 特色ある教育活動

- ①開校50周年の節目を迎え、記念式典だけでなく陸上競技大会、合唱コンクール、学習発表会を50周年記念行事とし、その内容の充実を図るとともに地域や先人に対する感謝の気持ち、六中生としての自覚や愛校心を醸成する。
- ②年間を通して、全校体制で朝読書に取り組むことによって、気持ちを落ち着かせて授業に臨む習慣を身につけさせるとともに、望ましい読書習慣の形成を図り、言語力の向上、特に「読む力」の向上を目指す。学校図書館活用モデル校として学校図書館サポーターや地域の人材を活用し学校図書館をより一層充実させる。その上で、図書委員会主催の図書館総選挙を実施し、生徒の豊かな感性や情緒を育み、表現力を育成する。
- ②武蔵野赤十字病院との連携による生命尊重の視点にたった教育（医師・看護師による授業）と本校が併設する病弱学級（いとすぎ学級）との交流や情報交換を通して、自他の生命や個性を尊重する精神を育成する。
- ③生徒の特性や実態に応じ保健体育科と関連させ、学校全体の一校一取組の内容として陸上競技大会やマラソン大会の事前の練習等を意図的・計画的に実施し体力の向上を目指す。
- ④家庭や地域社会との連携を強め、地域に貢献する意欲や態度を育てるような場や機会を積極的に提供し生徒の市民性を高める。そのために、学習教室、講演会、家庭科の授業における保育園等の訪問、生徒会主催の地域清掃、花活動を実施し、地域の祭りやボランティア活動、文化祭、関係小学校の運動会ボランティアへの積極的な参加を促していく。
- ⑤自然や文化に触れ、産業を学んだり職業を体験したりする行事などを推進することにより、奉仕の心や社会性、責任感や望ましい勤労観とともに、豊かな心を育てる。そのために、セカンドスクールでの民泊体験や農業体験、職場訪問・職場体験、職業人の話を聞く会、卒業生の話を聞く会、生徒会主催によるボランティア活動等を実施する。
- ⑥地域や行政と連携しながら実践的な防災教育を実施し、非常災害時に地域の中で貴重な活力となるべく能力を身につけさせ、社会貢献・地域貢献できる資質を育成するとともに、地域の一員であることを自覚させることで、将来を見据えた市民性の育成を図る。
- ⑦各教科との連携を図りながら学習指導補助員や地域の人材を活用し、平日の放課後や土曜日の学習支援教室及び長期休業中等の補充教室を充実させる。
- ⑧オリンピック・パラリンピック教育の一環として、我が国の伝統・文化を身に付けさせ、日本人としての誇りを大切にすることを育てるための行事を積極的に推進する。そのために、百人一首大会、三味線教室、着付け教室、書道教室、保健体育科による相撲の授業等を実施する。

2. 学校教育指導

2 - 1 教育研究活動

① 指導課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和2年度)

名 称	構 成	内 容
1 担当者会		
教務担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の教務担当者 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 教育課程や教務事務等に関する研修を深め、各校の実践に生かす。 各校の教務に関する情報交換を行うとともに市教委との連絡機関とする。
生活指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の生活指導担当者 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 各校の生活指導上の情報交換や協議を行い、具体的な課題や事例に基づき相互の研修を深める。 市教委や関係諸機関との連携を図り、児童・生徒の健全育成に資する。
進路指導担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校の進路指導担当者 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 成績一覧表調査に係る事務連絡等を中心に評価評定の研修を行う。 進路指導やキャリア教育について情報交換を行う。
道徳教育推進教師担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の道徳教育推進教師 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育に関する取組について情報交換を行い、各校での道徳教育推進を図る。 「特別の教科 道徳」における評価を踏まえた授業づくりの研究・研修を行う。
小学校外国語等担当者会	<ul style="list-style-type: none"> 各小学校の外国語等担当者 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語活動、外国語に関する取組について情報交換を行い、充実を図る。 学級担任がT1となって展開する授業づくりの研究・研修を行う。
2 委員会		
人権教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 人権教育の視点を踏まえた講演会やフィールドワーク等を行い、人権教育の理解を深める。 人権教育に係る施策の周知の場とする。
プログラミング教育推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器の活用、情報モラルの理解・プログラミング教育等のI C T教育を推進するため、研修を深め、授業研究等とおした協議、情報交換を行う。
武蔵野市民科カリキュラム検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 各小中学校の推進委員 校長会・副校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校及び中学校において実施する武蔵野市民科のカリキュラムや実施方法等について検討する。
中学校部活動あり方検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の教員 校長会・副校長会の代表 生涯学習振興事業団 体育協会 	<ul style="list-style-type: none"> 武蔵野市における中学校部活動の今後のあるべき方向性を議論する。 部活動指導員の導入を視野に入れ、その実施に向けた課題や影響を検討する。

長期宿泊体験活動検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・校長会の代表 ・小・中学校の教員 ・保護者代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の資質・能力を育む上で、セカンドスクール等がより効果的な体験活動となるよう、課題を整理し、今後のあり方等を検討する。
学習者用コンピュータ活用検討委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者 ・校長会・副校長会の代表 ・小・中学校の教員 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用コンピュータを適切かつ効果的に活用するため、児童及び生徒の発達段階を踏まえた指導内容、児童及び生徒が適切かつ効果的に活用することで身に付く力等について検討する。
3 連絡会		
学校図書館担当者・サポーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の学校図書館サポーター ・各小中学校の司書教諭等 ・校長会の代表 ・市立図書館の担当者 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒の学校図書館利用の支援や、学校図書館を利用した授業の補助等を行う各校の学校図書館サポーターと担当教員による協議や情報交換を行う。 ・市立図書館との連携を図る。
4 運営委員会・実行委員会		
移動教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・日光移動教室に関する協議、連絡調整を行う。
演劇鑑賞教室運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小学校の委員 ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の児童にふさわしい優れた演劇を鑑賞させ、文化的体験を深めさせるための運営を行う。

② 指導課主催 教職員等研修一覧

(令和2年度)

回数：半日を1回

研修会名	概要	回数	備考
1 職層研修			
校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が進める重点的な取組や教育課題への対応に関する研修を行う。 	1	
副校長研修会		1	
新補・転補校長・副校長研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・本市に新しく着任した校長・副校長を対象に、本市が進める取組等に関する研修を行う。 	1	
主幹教諭・主任教諭任用時研修	<ul style="list-style-type: none"> ・国・都主催研究発表会等などに参加し、主幹教諭・主任教諭としての見識を高める。 	1	
2 年次研修			
若手教員育成研修(1年次) 〔初任者等研修〕	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 10回、課題別研修 3日 ・校内における研修 (180時間以上) 		法定研修
若手教員育成研修(2年次)	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 3回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ③都研究員・教師道場発表等への参加 ・校内における研修 (30時間以上) 		
若手教員育成研修(3年次)	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 2回 ①集合研修 ②市夏季研修等への参加 ・校内における研修 (30時間以上) 		
中堅教諭等資質向上研修I	<ul style="list-style-type: none"> ・校外における研修 (14～22単位) ・校内における研修 (教諭30単位、主任教諭18単位) ※研修の段階によって単位数が異なる。(半日1単位)		法定研修

中堅教諭等資質向上 研修Ⅱ	・教諭等としての在職期間が20年に達した教員に対して 実施		法定研修
3 専門研修			
研究主任研修	①各小中学校の研究主任対象の市主催研修 ②市研究指定校発表会への参加	※1	
学校マネジメント講座 (学校リーダー育成プログラム)	・学校運営の中核を担う教員、将来学校経営を担うことができる教員の学校マネジメント能力の向上を図る。	2	
食育リーダー研修	・食に関する指導の在り方や食育リーダーの役割についての研修し、校内体制づくりについて協議や情報交換等を行う。	1	
4 教育課題研修			
小学校 理科実技研修会	・武教研理科部と連携し、理科の実験に関わる実技研修を行い、指導力の向上を図る。	※1	希望者研修
小学校 体育実技研修会	・武教研体育部と連携し、体育の実技研修を行い、指導力の向上を図る。	※1	希望者研修
小学校 外国語等研修	・学級担任が展開する授業の基本とクラスルームイングリッシュ等の習得をする。	1	希望者研修
特別支援教育・教育 相談研修	・学級における児童・生徒の理解や教育相談の在り方について身に付ける。	1	希望者研修
通級指導学級・特別 支援教室等専門性向上 研修	・通常の学級における特別な支援が必要と思われる児童・生徒について、正しい理解に基づいた支援の在り方等を身に付ける。	※1	希望者研修 教育支援課 と共催
プログラミング教育 研修	・プログラミング教育に関する講義及び実習等	1	希望者研修
5 五市合同夏季専門研修			
学習評価、授業づくり (算数)、プログラミング教育、特別の 教科 道徳、学級経営	・5講座(夏季休業中) 武蔵野市、三鷹市、調布市、府中市、狛江市の 合同開催		希望者研修
6 その他			
新補・外転入者対象 研修	・武蔵野市の学校教育の特徴や個人情報の管理について理解を深める。	※1	辞令伝達日に実施

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

③ 指導課主催 教育アドバイザー訪問研修一覧

(令和2年度)

研修名	人数	概要	訪問回数
1 若手教員育成研修の実施支援			
訪問研修Ⅰ (1年目)	22	新規採用者研修・期限付任用教員任用時研修(年間3回) ○教師として身につけるべき基礎的・基本的事項の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	81回
訪問研修Ⅱ (2年目)	19	訪問研修Ⅰ修了者(年間3回) ○実践的な指導力の育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導)の育成 ・生活指導・進路指導力の育成	39回
訪問研修Ⅲ (3年目)	18	訪問研修Ⅱ修了者(年間3回) ○課題解決力の伸長 ・実践的な指導力(学習指導力、生活指導力)の伸長 ・外部との連携・折衝力、学校運営力・組織貢献力の育成	32回
2 教員の育成研修の実施			
特別研修等	4	学校長の要請に応じた訪問研修 ○教員の授業指導、生活指導支援 教育委員会主催のセンター研修等の講師 ○研修会講師 ・初任者研修の講師 ・東京都センター研修等の講師	10回
臨時的任用 教員(産休育 休代替)の研 修	9	授業観察を基に、訪問研修計画の作成・実施 (随時、要請・状況に応じて訪問研修の実施) ○基礎的・基本的事項の確認と育成 ・学習指導力(授業計画・学習材活用・実践指導) ・生活指導(児童・生徒指導)力の育成	16回

④ 教育支援課主催 各種委員会・連絡会・運営委員会等一覧

(令和2年度)

名 称	構 成	内 容
1 委員会		
就学支援委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士 ・都立特別支援学校の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒一人一人に最もふさわしい就学先を判断するために、必要な調査及び就学相談を実施する。
通級判定委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会、副校長会の代表 ・特別支援学級の代表 ・学識経験者 ・臨床心理士 	<ul style="list-style-type: none"> ・通常の学級に在籍し、かつ、聴覚障害、言語障害又は情緒障害等により特別な支援を必要とする児童・生徒に適切な教育を受ける機会を提供するため、通級指導の可否を判定する。
2 連絡会		
特別支援教育コーディネーター連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校のコーディネーター ・校長会の代表 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育に関わる研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の円滑な推進を図る。
3 協議会・運営委員会		
特別支援学級設置校連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ・各特別支援学級設置校校長 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の相互の連携を深め、指導内容の充実を図るため、その組織及び運営に関し必要な事項を定めることを目的とする。
知的障害学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・知的障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
肢体不自由学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
難聴・言語障害学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴・言語障害学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・難聴・言語障害学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。
病弱学級運営委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育長 ・武蔵野赤十字病院長 ・病弱学級設置校校長、副校長、学級担任 ・医師、看護師、臨床心理士、保育士 	<ul style="list-style-type: none"> ・病弱学級と武蔵野赤十字病院との相互の連携を深め、学級運営に関して充実を図る。
情緒障害等学級運営委員会(休会)	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒障害等学級設置校校長、副校長、学級担任 	<ul style="list-style-type: none"> ・情緒障害等学級の相互の連携を深め、指導内容及び運営に関して充実を図る。

⑤ 教育支援課主催 教職員等研修一覧

(令和2年度)

回数：半日を1回

研 修 会 名	概 要	回 数	備 考
専門研修			
通級指導学級・特別支援教室等専門性向上研修	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援教育コーディネーター、特別支援教育専門員、巡回指導教員(希望者)を対象に、市の現状や取組、教育支援センターの機能、発達障害の特性等について研修し、特別支援教育の充実を図る。 	1	指導課と共催

2 - 2 校内研究活動

(令和2年度)

学校名	研究主題等
第一小学校	笑顔でコミュニケーションをする児童の育成
第二小学校	論理的に考え、表現できる児童の育成（国語科）
第三小学校	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～
第四小学校	心も体も元気な児童の育成
第五小学校	「深い学び」の視点に立った授業の創造
大野田小学校	見方・考え方を働かせ、深く考える児童の育成 ～考えるための技法の視点を通して～
境南小学校	自他ともに幸福な人生の創り手につながる資質・能力の育成 ～「武蔵野市民科」を軸とした探究的な学びを通して～
本宿小学校	運動の楽しさや喜びを味わい、主体的に学ぶ児童の育成
千川小学校	考え 取り組み 振り返る 自ら学ぶ児童の育成 ～例文を生かした国語科「書くこと」における指導の工夫～
井之頭小学校	自ら学習を調整し、粘り強く取り組む児童の育成 ～新しい時代の指導と評価の一体化～
関前南小学校	目的や対象に応じて表現できる児童の育成 ～表現力を高める指導法の工夫・改善を通して～
桜野小学校	深い学びの実現 ～説明的文章の指導を通して～
第一中学校	「言葉の力」を中核として、多様な他者と協働していく力の育成 ～武蔵野市民科の実践に向けた取り組みから～
第二中学校	新学習指導要領全面実施に向けて
第三中学校	主体的に学ぶ生徒の育成 ～ICT 機器の活用を通して～
第四中学校	新学習指導要領の実現に向けた指導と評価の一体化
第五中学校	持続可能な未来に向けての授業改善 ～新学習指導要領に対応したオンラインにおける双方向授業～
第六中学校	新学習指導要領の全面実施に向けて ～評価を生徒の具体的学習改善につなげるために～

2 - 3 研究指定校等一覧

◇ 武蔵野市（令和2年度）

① 教育課題研究開発校（継続1校、新規3校：第三小学校、第五小学校、境南小学校）

学校名	研究課題	研究主題	年次
桜野小学校	深い学びの実現	深い学びの実現 ～説明的文章の指導を通して～	2-2
第三小学校	深い学びの実現	自分の思いや考えをもち、深める児童の育成 ～主体的・対話的で深い学びの実現を通して～	2-1
第五小学校	深い学びの実現	「深い学び」による資質・能力の向上をめざした授業の創造	2-1
境南小学校	武蔵野市民科	自他ともに幸福な人生の創り手につながる資質・能力の育成 ～「武蔵野市民科」を軸とした探究的な学びを通して～	3-1

② 教育研究奨励校（新規1校）

学校名	教科等	研究主題	年次
第一中学校	人権教育	豊かな人権感覚をもつ生徒の育成 ～自尊感情を高める教育活動の工夫～	2-2

③ モデル校・その他

事業名	対象校
運動能力向上モデル校	第四小学校、大野田小学校

◇ 東京都・国等（令和2年度）

事業名	対象校
オリンピック教育推進校（都）	市立小中学校全校
愛鳥モデル校（都）	井之頭小学校
学習指導実践研究協力校（国立教育政策研究所）	第三小学校

2 - 4 教育推進室

平成27年4月、下記の5つの機能を先行して行う教育推進室を開室しました。5つの機能の他に、「開かれた学校づくり協議会」の運営、ティーチングアシスタント事業、サポートスタッフ事業、「地域コーディネーター」の各小中学校への配置、教員の多忙化解消のための「副校長等事務補助（会計年度任用職員）」の配置など多くの取組を行っています。また、平成30年4月から教育アドバイザー事業を拡充し、学校経営に関する校長等への支援も行っています。

教育推進室の 5つの機能ほか	主 な 内 容
相談・支援	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員に対する相談・支援 ・教職員に対する研究や研修等の協議をもつ場の提供 ・学級崩壊やいじめ等への緊急対応支援 ・学校経営に関する校長等への支援
研 修	<ul style="list-style-type: none"> ・若手教員育成研修の実施支援 ・臨時的任用教員（産休育休代替）の指導・支援 ・職層研修の実施支援 ・重点事業や教育課題に関する委員会等の実施支援
教育情報 収集・発信	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域と学校の協働通信」の発行（年2回発行） ・学校情報システム等を活用した教育情報の発信 ・教科書展示・閲覧 ・各種教育関係資料（指導資料・研究紀要・各種冊子・学校関係資料・パンフレット等）の収集・整理・展示
調査・研究	<ul style="list-style-type: none"> ・本市が抱える当面の教育課題に対する調査・研究 ・授業改善や児童・生徒理解に資する調査・研究
ネットワーク構築 コーディネート	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援協力者リストの作成及び学校への紹介 ・地域コーディネーターの活躍促進、連絡会の開催（年3回） ・地域の教育力による学校教育の支援
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・開かれた学校づくり協議会代表者会の開催（年2回） ・教科書・指導書・DVD教材等の貸出 ・学校共有貸出備品の購入・貸出 ・学生ボランティアのSS・TA配置による学校支援 ・教員の多忙化解消のための副校長等事務補助（会計年度任用職員）の配置

2-5 武蔵野市立小中学校教育研究会

新学習指導要領の確実な実施には、教職員の自己啓発がより一層重要になっています。本研究会は、市立小中学校の教職員が共に学び、校種を超えて相互理解を深めながら、武蔵野市における各教科研究を牽引していくとともに、各教員の自己啓発にとって貴重な場となっています。

① 目標

「自ら人生を切り拓き、多様な他者と協働してよりよい未来の創り手となる子供を育てよう」

② 活動方針

- ◎基礎・基本の定着を図り、学ぶ意欲を向上させ豊かな学びのための基盤づくりをしよう。
- ◎子どもたちに知的好奇心を喚起するための魅力ある教育活動を進めよう。
- ◎豊かな教育資源を活用し、地域と協働した教育実践を推進しよう。

③ 事業実績

(令和2年度)

研究活動	文化活動	広報活動
<ul style="list-style-type: none"> ○ 専門部（2回） 小学校2回、中学校2回 ○ 管外出張 ※ ○ 研究実践奨励 (グループ及び個人) ○ 研究発表会 ※ 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会 ※ ○ 関連事業 <ul style="list-style-type: none"> ・ 連合音楽会 ※ ・ 音楽鑑賞教室 ※ ・ 美術展（小中合同） ・ 書き初め展（小中合同） ○ 文集「けやき」発行 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 武教研 3月発行

※ 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

2 - 6 教科用図書及び副読本

① 小学校教科用図書（令和2年度～令和5年度使用）

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	生活	せいかつ	光村
書写	書写	光村	音楽	音楽のおくりもの	教出
社会	新しい社会	東書	図工	図画工作	開隆堂
地図	楽しく学ぶ小学生の地図帳	帝国	家庭	わたしたちの家庭科	開隆堂
算数	新しい算数	東書	保健	みんなの保健	学研
理科	たのしい理科	大日本	英語	Here We Go!	光村
			道徳	新しい道徳	東書

② 中学校教科用図書（平成28年度～令和2年度使用）

教科	教科書名	発行者	教科	教科書名	発行者
国語	国語	光村	音楽(一般)	中学生の音楽	教出
書写	中学書写	光村	音楽(器楽)	中学生の器楽	教出
社会(地理)	社会科 中学生の地理	帝国	美術	美術	日文
社会(歴史)	新しい社会 歴史	東書	保健体育	中学保健体育	学研
社会(公民)	新しい社会 公民	東書	技術・家庭(技)	技術・家庭 技術分野	開隆堂
地図	新しい社会 地図	東書	技術・家庭(家)	技術・家庭 家庭分野	開隆堂
数学	新しい数学	東書	英語	NEW CROWN	三省堂
理科	新しい科学	東書	道徳	新しい道徳	東書

※令和元年度より、「特別の教科 道徳」が開始した。

③ 副読本（令和2年度使用）

わたしたちの武蔵野市	小学校3・4年	社会科
武蔵野市の地図	小学校3・4年	社会科
わたしたちの東京都	小学校4年	社会科
東京都の地図	小学校4年	社会科
武蔵野市のいま・むかし	小学校1～6年	全教科
わたしたちの安全チャオ	小学校1～6年	保健等
体育の学習	小学校1～6年	体育
私たちの安全	中学校1年	保健体育等
新しい体育実技	中学校1～3年	保健体育

2 - 7 特別支援教育

① 特別支援学級・特別支援教室

令和3年5月1日現在

	設置校	学級数	児童・生徒数	連絡先
1. 知的障害	第三小学校 ひまわり学級	2学級	13人	43-0571
	大野田小学校 むらさき学級	4学級	26人	51-0513
	境南小学校 けやき学級	3学級	20人	34-8371
	第四中学校 群咲学級	4学級	25人	51-7677
2. 難聴	桜野小学校 こだま学級(通級)	1学級	7人	54-8655
	第一中学校 エコールーム(通級)	1学級	14人	51-1136
3. 言語障害	桜野小学校 こだま学級(通級)	3学級	57人	54-8655
4. 肢体不自由	大野田小学校 いぶき学級	1学級	3人	51-0513
	第四中学校 いぶき学級	1学級	2人	51-7675
5. 病弱(院内)	境南小学校 いとすぎ学級	1学級	0人	32-6140
	第六中学校 いとすぎ学級	1学級	0人	32-6140
6. 情緒障害等	第四小学校 はなみずき教室	特別支援 教室	69人	22-1443
	千川小学校 あさがお教室		70人	51-3695
	井之頭小学校 かわせみ教室		64人	51-7188
	桜野小学校 こぶし教室		72人	53-5651
	第二中学校 こぶし教室		45人	54-9103

※特別支援教室は学級編成をしない。

② 特別支援教育の推進

通常の学級に在籍する特別な配慮を要する児童・生徒及び、特別支援学級児童・生徒の指導の充実、学習環境の整備などを進めるとともに理解啓発を行います。

武蔵野市における特別支援教育の推進イメージ

特別支援教育推進体制の構築

○特別支援教育コーディネーター連絡会
各学校で特別支援教育推進の中心となっている教員(特別支援教育コーディネーター)を対象として、研修や情報交換を行い、校内の特別支援教育の充実につなげます。

○特別支援学級設置校連絡協議会・運営委員会

特別支援各学級の指導内容・方法について情報交換をするとともに、課題や改善について協議します。

専門性の確保

○専門家スタッフ

発達障害を専門とする大学教授等が小・中学校を年間6回訪問。授業観察を行い、対象の子どもの行動の意味や指導上の工夫などを学校に助言します。

○巡回相談心理士(特別支援教室)

都が配置した資格取得者(臨床発達心理士、特別支援教育士、学校心理士、公認心理師)が年間40時間、専門的な指導・支援を学校が実施するための助言を行います。

○派遣相談員

教育支援センターの臨床心理士を全小・中学校に週1回派遣。学級担任やコーディネーターに助言を行うとともに、子どもたちや保護者からの相談に応じます。

○都スクールカウンセラー

不登校・いじめ問題の解消や防止のため、全小・中学校に週1回配置されています。

○スクールソーシャルワーカー

6名配置。子どもたちの抱える問題の解決を図るため、学校、家庭、地域、関係機関の連携・調整を行います。

小・中学校の取組

○校内委員会の運営

特別支援教育コーディネーターを中心に、専門家スタッフの助言や保護者の意見を取り入れながら、具体的な支援策を協議し、学校全体の協力体制を組みます。

○特別支援教育コーディネーター

各学校で2名以上の教員を指名。関係機関との連絡調整、保護者の相談窓口、担任の先生への支援など特別支援教育の中心となって活動しています。

○教員の専門性の向上

発達障害のある子どもの特性の理解や指導・支援の方法などを研修し、理解を深めています。

○個別指導計画・学校生活支援シート(個別の教育支援計画)

対象となる子どもへの教育的ニーズに応じた指導を行うため、学校と保護者が協力して計画・シートを作成します。

特別支援学級(固定)の運営

学習面や対人関係など個に応じた指導を毎日行います。知的障害(小3・中1校)、肢体不自由(小・中各1校)、病弱(小・中各1校)の各学級を運営。個別指導や小集団指導に加えて通常学級との交流を進めています。

一人一人の教育的ニーズに応じた支援

○サポートスタッフ(指導課教育推進室)

臨床心理士等を目指す大学生・大学院生が人との関わり方に困難を抱える子どもに対して、授業中の個別支援や、休み時間、給食、清拭の時間の支援を行い、学校生活への適応を図ります。

○ティーチングアシスタント(教育推進室)

教職志望の大学生が子どもたちの学習支援や教員の指導補助を行います。

○通級指導学級・特別支援教室

通常は学籍のある学校(学級)で学習している子どもが、週1回程度、決められた日時に通い、個別指導や小集団指導を受ける学級です。難聴(小・中各1校)、言語障害(小1校)、情緒障害等(小4拠点校、中1校)を設置。

○個別支援教室

在籍学級で一斉指示による学習に困難さを示す子どもを対象に、別室で指導員が個に応じた指導をします。(全小学校設置)

連携体制の構築

○都立特別支援学校との連携

センター的機能による巡回相談、助言、講師派遣を受けています。

○交流及び共同学習

特別支援学級と通常の学級との交流促進や副籍制度の充実に取り組んでいます。
交流共同学習支援員を令和2年度より小学校、令和3年度より中学校の特別支援学級(知的障害)設置校に配置。

○幼・保・小の連携

入学前の子どもたちの情報を学校へ引き継ぐ就学支援シートを活用するとともに、就学前後の相談体制の充実を図ります。

子ども・保護者のニーズ

2 - 8 教育相談機関（教育支援センター）

教育支援センターでは、教育相談員及びスクールソーシャルワーカーによる相談支援、チャレンジルーム及びむさしのクレスコーレでの不登校児童・生徒への支援、帰国・外国人教育相談室での帰国・外国人・国際結婚家庭への支援を行っています。

① 教育相談員

- ア 支援対象 武蔵野市在住の幼児、児童、生徒および保護者他
- イ 活動内容 来所相談、電話相談、医療相談、知能検査（必要に応じて）
- ウ 学校派遣相談 週1回派遣相談員として市立小・中学校で相談支援

② スクールソーシャルワーカー

- ア 支援対象 原則として市立小中学校から支援依頼を受けた児童、生徒および保護者
- イ 活動内容 家庭訪問、同行支援、学校・関係機関との連携

③ チャレンジルーム

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校児童・生徒
- イ 活動内容 学習支援、集団活動、生活習慣の改善、進路相談

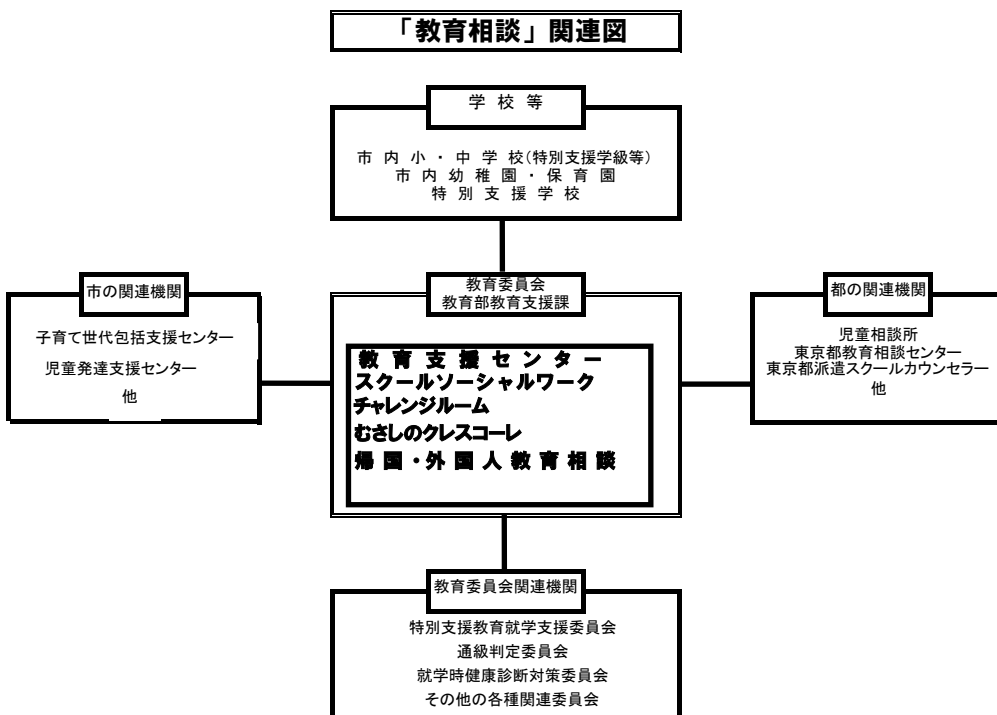
④ むさしのクレスコーレ（NPO 法人文化学習協同ネットワークに事業運営委託）

- ア 支援対象 武蔵野市在住の不登校生徒
- イ 活動内容 居場所の提供、集団活動、訪問支援、進路相談

⑤ 帰国・外国人教育相談室

- ア 支援対象 市内小中学校に編入学する帰国、外国籍及び国際結婚家庭の児童生徒
- イ 活動内容 相談、日本語指導、言語サポート、通訳・翻訳、学習支援（すてっぷルーム）

⑥ 教育相談関係機関



3. 教育活動

3-1 行事日程一覧

	小学校 移動教室	中学校 修学旅行	運動会・体育大会	学芸会・文化祭等	合唱祭 (合唱コンクール等)	道徳授業 地区公開講座
目的	<ul style="list-style-type: none"> 日光の歴史、地形、交通、名所、植物などについて知る。 集団生活を通して、友情を深める。 自然に親しみ、心身を鍛え、生活を豊かにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の古都、京都、奈良を見学することにより、日本の歴史や文化について理解を深める。 集団生活を通じて、自主性・協調性をはぐくむとともに集団行動のきまりや公衆道徳を身に付ける。 	各学校による	各学校による	各学校による	学校、家庭及び地域社会が一体となって子どもたちの豊かな心を育むとともに、道徳教育の充実を図る。
第一小学校	中止		10/24	表現運動発表会 11/24		10/16
第二小学校			10/24	学芸会 中止		中止
第三小学校			11/21	学芸会 中止		1/23
第四小学校			10/17	学芸会 中止		中止
第五小学校			10/24	学芸会 中止		中止
大野田小学校			10/17	アートフェスタ 11/20～11/21		1/23
境南小学校			11/14	学習発表会 中止		10/17
本宿小学校			10/17	はとの子作品展 1/22～1/23		11/14
千川小学校			10/10	音楽会 中止		9/12
井之頭小学校			10/31	学芸会 中止		中止
関前南小学校			11/14	関前場所学芸会 中止		中止
桜野小学校			11/7	学芸会 中止		中止
第一中学校	中止	中止	9/12	一中フェスタ 中止	3/13	11/6
第二中学校			9/26	音楽祭 中止	中止	11/7
第三中学校			10/24	文化祭 1/16	3/11	9/5
第四中学校			9/26	四中祭 10/24	3/12	中止
第五中学校			10/17	文化発表会 中止	中止	9/5
第六中学校			10/17	学習発表会 3/6	3/6	中止

オーケストラ鑑賞教室	演劇鑑賞教室	連合音楽会	書初展	美術展	南砺市利賀村訪問	その他	
オーケストラの演奏を聴き、それぞれの楽器の演奏法や指揮者の役割などを学習するとともに、曲の美しさを味わう。	実際の演劇を鑑賞することにより、人物の動作やセリフを学習するとともに、演劇の楽しさを味わう。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の学習の成果を発表し、互いの演奏を聞きあう。 ・ 音楽の楽しさ、美しさを味わい、音楽を愛好する心情を育てる。 	互いの作品の成果を発表し合うことで、作品を正しく鑑賞する能力や態度を養い、子どもたちの意欲を高める。		利賀村の児童や人々との交流を深めるとともに自然のすばらしさを知る。		目的
中止	中止	中止	1/23～1/25	2/5～2/9	中止		第一小学校
							第二小学校
						周年記念式典 2/20	第三小学校
							第四小学校
							第五小学校
							大野田小学校
						中間発表会 11/25	境南小学校
							本宿小学校
							千川小学校
							井之頭小学校
	関前南小学校						
	桜野小学校						
中止	中止	中止					第一中学校
							第二中学校
							第三中学校
							第四中学校
							第五中学校
							第六中学校

3 - 2 セカンドスクール

市立小学校5年生、市立中学校1年生全員を対象に、セカンドスクールを実施しています。セカンドスクールとは、普段の学校生活（ファーストスクール）ではできないような体験学習を、授業の一部として自然豊かな農山漁村に長期滞在して行うものです。平成4年度からの試行を経て、平成7年度から全小学校が、平成8年度からは全中学校が実施しています。また、小学校4年生を対象にした「プレセカンドスクール」も試行を経て、平成17年度から本格実施となり、セカンドスクールにつながる体験活動に大きな成果をあげています。市内小中学校全校による本格実施20周年を迎えた平成27年度には、これまでの取組が評価され「2015年度グッドデザイン賞（主催：公益財団法人日本デザイン振興会）」を受賞しました。

実施期間は、小学校で6泊7日（プレセカンドスクールは2泊3日）、中学校で4泊5日です。各学校とも特色ある教育活動として、実施場所や活動内容など、創意工夫を図り、毎年充実させています。

①目的

- ・自然との触れ合いを通して、子どもたちの豊かな情操や感性をはぐくむとともに、子どもたちの知的好奇心や探究心を喚起し、課題解決への意欲や態度を培う。
- ・長期にわたる宿泊体験を通し、生活自立に必要な知識や技能を身に付けるとともに、子どもたちの豊かな人間関係を育てる。
- ・子ども同士の協働により、自主性や協調性を育てるとともに、実施地の方々との交流を通じて、進んで他者と関わる力を培う。

②これまでの経緯

平成 4年度	長野県八坂村で、夏季山村生活体験学習（6泊7日）を小学校6年生、中学校1年生の30名で実施
平成 5年度	岩手県遠野市で、夏休みに山村生活体験教室（12泊13日）を小学校4年生から中学校2年生100名で実施
平成 6年度	岩手県遠野市において、小学校5年生、中学校1年生が12泊13日で実施
平成 7年度	小学校全13校が学期中に実施（岩手県遠野市、長野県高遠町、富山県利賀村、新潟県小国町、山梨県中富町、山梨県高根町）。長野県豊科町において、中学校1年生70名（中学校6校の代表）が夏季休業中に6泊7日で実施
平成 8年度	全小・中学校が学期期間中に実施
平成15年度	「プレセカンドスクール」を小学校4校にて試行実施
平成16年度	「プレセカンドスクール」を小学校10校にて試行実施
平成17年度	全小学校が「プレセカンドスクール」を実施
平成27年度	本格実施20周年を迎える。「2015年度グッドデザイン賞」を受賞
令和 2年度	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全校中止 「武蔵野市長期宿泊体験活動検討委員会報告書」作成

③ 主な体験活動

- ・自然体験（周辺自然観察、登山等）
- ・社会体験（田植え、稲刈りなどの農業体験や林業体験等）
- ・生活・文化体験（笹団子、ちまき等の郷土食作り、民宿・農家生活、紙すき等の伝統工芸体験等）
- ・その他（学校交流、ボランティア活動）

4. 高等学校等修学支援事業

4 - 1 高等学校等入学準備金

教育を受ける機会の充実を図ることを目的とし、高等学校等の入学準備に必要な費用（学用品の購入など）について経済的援助を入学前に行う制度です。就学援助の認定要件を満たしている方が対象です（平成28年度より）。

令和2年度 高等学校等入学準備金支給状況

支給人数：119人 支給額：60,000円／1人 支給総額：7,140,000円

4 - 2 高等学校等修学給付金

高校生のいる世帯に対する教育費（授業料以外）の負担軽減を目的とした給付金制度です。東京都奨学給付金制度の対象である生活保護受給世帯・市民税都民税所得割額非課税世帯を除いた一定所得以下の世帯が対象です（平成29年度より）。

令和2年度 高等学校等修学給付金支給状況

支給人数：272人 支給額：50,000円／1人 支給総額：13,600,000円

5. 就学援助費・特別支援教育就学奨励費

5 - 1 就学援助費

教育基本法、学校教育法等に基づき、要保護児童・生徒並びに、経済的な理由により就学することが困難と市教育委員会で認定した準要保護児童・生徒の保護者に対し、学校教育活動に必要な費用（学用品費、校外活動費、給食費等）の援助を行い、義務教育の円滑な実施を図るものです。

令和2年度 就学援助費支給状況（給食費合算）

<小学校> 認定者数：632人 支給総額：43,346,205円

<中学校> 認定者数：381人 支給総額：31,233,916円

※認定者数には、次年度入学児童生徒への新入学学用品費の入学前支給を実施した人数を含む。

5 - 2 特別支援教育就学奨励費

教育基本法、学校教育法、特別支援学校への就学奨励に関する法律等に基づき、特別支援学級に通う児童・生徒の保護者に対し、教育費の一部（通学費、学用品費等）を補助することにより保護者の経済的負担を軽減するものです。

令和2年度 特別支援教育就学奨励費支給状況（給食費合算）

<小学校> 支給人数：39人 支給総額：896,318円

<中学校> 支給人数：9人 支給総額：522,040円

6. 学校保健・体育

6 - 1 学校保健

① 定期健康診断

児童・生徒及び教職員の健康の増進を図り、学校教育の円滑な実施とその成果の確保に資することを目的として、毎年定期的に行っています。

② 就学时健康診断

就学予定者の心身の状況を的確に把握し、就学に当たって、保健上必要な勧告、助言を行うとともに、適正な就学を図ることを目的に、毎年10月から11月の間に行っています。

③ 委員会等一覧

名 称	構 成	内 容
就学时健康診断 対策委員会	・市立学校長、養護教諭 ・教育支援課職員	就学时健康診断を円滑に実施するため、 実施内容・方法等について検討を行う。
武蔵野市学校 保健委員会	<各小中学校保健委員会> ・各小中学校の校長、副校長、 保健主任、養護教諭 ・各小中学校の学校医、学校歯科 医、学校薬剤師 ・各小中学校の児童生徒の保護者 の代表者 <幹事会> ・校長会・副校長会の各代表者 ・東京都多摩府中保健所の代表者 ・健康福祉部健康課長 ・教育部統括指導主事 ・教育部教育支援課長 ・教育部教育支援課学務係学校 保健給食担当係長	・各学校の学校保健員会及び委員を 代表する幹事会で組織する。 ・各学校保健委員会は、市教育委員 会の基本方針に基づき、各学校の実 情に応じた活動方針を定め、その方 針に沿って学校保健に関する活動を 行う。 ・幹事会は、各学校の児童及び生徒 の健康づくりの推進並びに学校保健 活動の充実及び発展を図るため、教 育委員会の諮問に応じ、検討する。

6 - 2 学校体育

① 市内中学校総合体育大会

市内公私立中学校の生徒が、各種競技の正しい知識と技術を修得し、体育に対する興味と関心を深め健全な心身を鍛えるとともに、望ましい社会性を身に付けるために開催しています。この体育大会を円滑に実施するため、校長、副校長、教諭、市教委の委員によって、市内中学校総合体育大会運営委員会を設置し、競技種目、実施日程、大会運営等について協議を行っています。競技種目は、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、剣道、サッカー、野球、ソフトテニス、硬式テニス、陸上競技です。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止